

令和7年度 青森市民意識調査結果報告書



令和7年11月

青森市企画部 広報広聴課

◇◆◇ 目 次 ◇◆◇

I 調査の概要

調査の概要	1
調査地域区分表	2
調査票の回収結果	3
回答者の属性	4

II 調査結果

1 住みやすさの評価、今後の定住意向（問 2～問 3）	7
2 青森市への誇りや愛着、青森市に住んでもらいたい（問 4～問 5）	34
3 市政情報の入手方法（問 6）	53
4 令和 7 年度 青森市の主な取組について（問 7～問 12）	58
5 市政に対するご意見・ご提案（問 13）	62

III 調査票

令和 7 年度青森市民意識調査へのご協力をお願い	65
--------------------------	----

I 調査の概要



調査の概要

1 調査目的

市民の皆様がまちづくりの各分野や生活の各局面などで、どのように考え、どのように行動しているのかを伺い、今後の施策等を検討する上での基礎資料とすることを目的とする。

2 調査内容

- (1) 住みやすさの評価、今後の定住意向（問 2～問 3）
- (2) 青森市への誇りや愛着、青森市に住んでももらいたいのか（問 4～問 5）
- (3) 市政情報の入手方法（問 6）
- (4) 令和 7 年度 青森市の主な取組について（問 7～12）
- (5) 市政に対するご意見・ご提案（問 13）

3 調査方法

- (1) 調査対象者
市内に在住する満 16 歳以上の男女 3,000 人（母数 232,203 人）
- (2) 抽出方法
性別、年齢層及び居住地区の全体に占める割合に応じて標本数を配分した上で、区分ごとに住民基本台帳（令和 7 年 4 月 1 日現在）から等間隔無作為抽出
- (3) 配票及び回収方法
配票については、郵送
回収については、返信用封筒による郵送または、WEB による回答（無記名、自記式）

4 調査期間

令和 7 年 5 月 9 日（金）～ 5 月 31 日（土）

5 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセント（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が 100 にならない場合がある。
- (2) 複数回答が可能な設問（問 2－①、問 2－②、問 4－①、問 6）では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選んだ人が全体からみて何パーセントなのかという見方としているため、各項目の比率を合計しても 100 とはならない。
- (3) 図表及び文章中で、選択肢の語句等を、趣旨が変わらない程度に一部簡略化している場合がある。

調査地域区分表

地区 番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原（稲葉）、けやき、小柳、栄町、桜川、自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中央地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、東大野、緑、妙見、安田、八ツ役（矢作）
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区 A	浅虫、泉野、後菰、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区 B	赤坂、桑原（山崎）、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、戸崎、戸山、蜷沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、野沢、細越、八ツ役（芦谷、上林）
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

調査票の回収結果

・年齢別

年齢層	標本数			有効 回収数	回収率	性別構成		
	男	女	合計			男	女	無回答
16 ～ 19 歳	58	58	116	39	33.6%	18	21	0
20 ～ 29 歳	132	124	256	83	32.4%	37	46	0
30 ～ 39 歳	149	152	301	91	30.2%	41	50	0
40 ～ 49 歳	221	224	445	164	36.9%	82	81	1
50 ～ 59 歳	246	258	504	194	38.5%	94	100	0
60 ～ 69 歳	235	257	492	275	55.9%	121	137	17
70 歳 以 上	345	541	886	463	52.3%	161	250	52
不 明	—	—	—	11	—	1	0	10
合計	1,386	1,614	3,000	1,320	44.0%	555	685	80

・地区別

地区名	標本数			有効 回収数	回収率	性別構成		
	男	女	合計			男	女	無回答
東 地 区	335	390	725	344	47.4%	156	174	14
中 央 地 区	118	137	255	109	42.7%	47	55	7
南 地 区	314	364	678	287	42.3%	119	157	11
西 地 区	270	316	586	266	45.4%	106	140	20
東 部 地 区 A	46	55	101	34	33.7%	20	11	3
東 部 地 区 B	40	45	85	42	49.4%	19	20	3
南 東 部 地 区	55	66	121	53	43.8%	22	29	2
西 部 地 区	64	75	139	63	45.3%	25	34	4
南 部 地 区	29	33	62	22	35.5%	6	13	3
北 部 地 区	28	31	59	19	32.2%	8	10	1
浪 岡 地 区	87	102	189	65	34.4%	26	36	3
不 明	—	—	—	16	—	1	6	9
合計	1,386	1,614	3,000	1,320	44.0%	555	685	80

回答者の属性

①性別

	回答数	構成比
男性	555	42.0%
女性	685	51.9%
無回答	80	6.1%
全体	1,320	100%

②年齢別

	回答数	構成比
16～19歳	39	3.0%
20～29歳	83	6.3%
30～39歳	91	6.9%
40～49歳	164	12.4%
50～59歳	194	14.7%
60～69歳	275	20.8%
70歳以上	463	35.1%
無回答	11	0.8%
全体	1,320	100%

③職業別

	回答数	構成比
農・林・漁業	10	0.8%
給与所得者	433	32.8%
自営業	57	4.3%
パート・アルバイトなど	158	12.0%
主婦・主夫	170	12.9%
学生	54	4.1%
無職	358	27.1%
その他	59	4.5%
無回答	21	1.6%
全体	1,320	100%

④居住年数別(旧青森市、旧浪岡町当時も含む)

	回答数	構成比
5年以内	71	5.4%
6～9年	39	3.0%
10～19年	115	8.7%
20～29年	141	10.7%
30～39年	168	12.7%
40年以上	768	58.2%
無回答	18	1.4%
全体	1,320	100%

⑤居住形態別

	回答数	構成比
持ち家	997	75.5%
民間の借家・アパート	203	15.4%
公営住宅	26	2.0%
給与住宅(社宅、公舎)	19	1.4%
間借、同居、寮など	66	5.0%
無回答	9	0.7%
全体	1,320	100%

⑥居住地区別

	回答数	構成比
東地区	344	26.1%
中央地区	109	8.3%
南地区	287	21.7%
西地区	266	20.2%
東部地区A	34	2.6%
東部地区B	42	3.2%
南東部地区	53	4.0%
西部地区	63	4.8%
南部地区	22	1.7%
北部地区	19	1.4%
浪岡地区	65	4.9%
無回答	16	1.2%
全体	1,320	100%

回答者の属性(一覧)

		総計		男性		女性		無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		1,320	100%	555	100%	685	100%	80	100%
年齢	16～19歳	39	3.0%	18	3.2%	21	3.1%	0	0.0%
	20～29歳	83	6.3%	37	6.7%	46	6.7%	0	0.0%
	30～39歳	91	6.9%	41	7.4%	50	7.3%	0	0.0%
	40～49歳	164	12.4%	82	14.8%	81	11.8%	1	1.3%
	50～59歳	194	14.7%	94	16.9%	100	14.6%	0	0.0%
	60～69歳	275	20.8%	121	21.8%	137	20.0%	17	21.3%
	70歳以上	463	35.1%	161	29.0%	250	36.5%	52	65.0%
	無回答	11	0.8%	1	0.2%	0	0.0%	10	12.5%
職業	農・林・漁業	10	0.8%	9	1.6%	1	0.1%	0	0.0%
	給与所得者	433	32.8%	255	45.9%	172	25.1%	6	7.5%
	自営業	57	4.3%	40	7.2%	16	2.3%	1	1.3%
	パート・アルバイトなど	158	12.0%	35	6.3%	117	17.1%	6	7.5%
	主婦・主夫	170	12.9%	0	0.0%	157	22.9%	13	16.3%
	学生	54	4.1%	23	4.1%	31	4.5%	0	0.0%
	無職	358	27.1%	163	29.4%	160	23.4%	35	43.8%
	その他	59	4.5%	30	5.4%	22	3.2%	7	8.8%
居住年数	無回答	21	1.6%	0	0.0%	9	1.3%	12	15.0%
	5年以内	71	5.4%	39	7.0%	31	4.5%	1	1.3%
	6～9年	39	3.0%	22	4.0%	17	2.5%	0	0.0%
	10～19年	115	8.7%	55	9.9%	58	8.5%	2	2.5%
	20～29年	141	10.7%	63	11.4%	74	10.8%	4	5.0%
	30～39年	168	12.7%	81	14.6%	76	11.1%	11	13.8%
	40年以上	768	58.2%	291	52.4%	424	61.9%	53	66.3%
	無回答	18	1.4%	4	0.7%	5	0.7%	9	11.3%
居住形態	持ち家	997	75.5%	402	72.4%	540	78.8%	55	68.8%
	民間の借家・アパート	203	15.4%	103	18.6%	90	13.1%	10	12.5%
	公営住宅	26	2.0%	8	1.4%	15	2.2%	3	3.8%
	給与住宅(社宅、公舎)	19	1.4%	13	2.3%	6	0.9%	0	0.0%
	間借、同居、寮など	66	5.0%	29	5.2%	34	5.0%	3	3.8%
	無回答	9	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	9	11.3%
居住地区	東地区	344	26.1%	156	28.1%	174	25.4%	14	17.5%
	中央地区	109	8.3%	47	8.5%	55	8.0%	7	8.8%
	南地区	287	21.7%	119	21.4%	157	22.9%	11	13.8%
	西地区	266	20.2%	106	19.1%	140	20.4%	20	25.0%
	東部地区A	34	2.6%	20	3.6%	11	1.6%	3	3.8%
	東部地区B	42	3.2%	19	3.4%	20	2.9%	3	3.8%
	南東部地区	53	4.0%	22	4.0%	29	4.2%	2	2.5%
	西部地区	63	4.8%	25	4.5%	34	5.0%	4	5.0%
	南部地区	22	1.7%	6	1.1%	13	1.9%	3	3.8%
	北部地区	19	1.4%	8	1.4%	10	1.5%	1	1.3%
	浪岡地区	65	4.9%	26	4.7%	36	5.3%	3	3.8%
	無回答	16	1.2%	1	0.2%	6	0.9%	9	11.3%

Ⅱ 調査結果

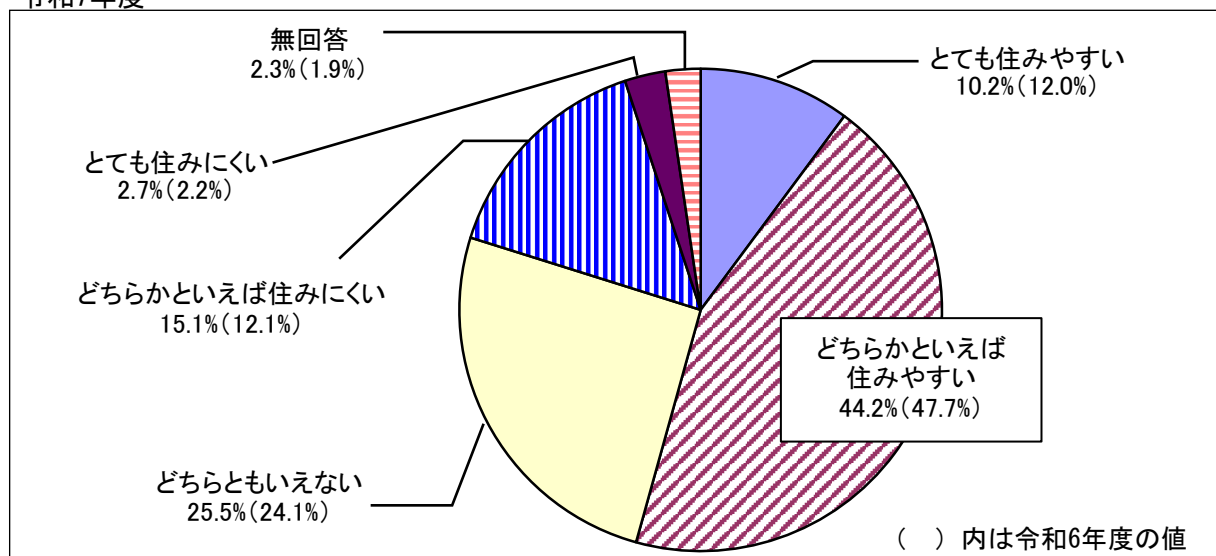


1 住みやすさの評価、今後の定住意向

【問2】あなたにとって、青森市は住みやすい市ですか。（○は1つ）

【全体】

令和7年度



10.2%の人が「とても住みやすい」と回答しており、これに「どちらかといえば住みやすい」(44.2%)を合わせた「住みやすい」と回答した人の割合は54.4%となっている。

一方、「とても住みにくい」(2.7%)と「どちらかといえば住みにくい」(15.1%)を合わせた「住みにくい」と回答した人の割合は17.8%となっている。

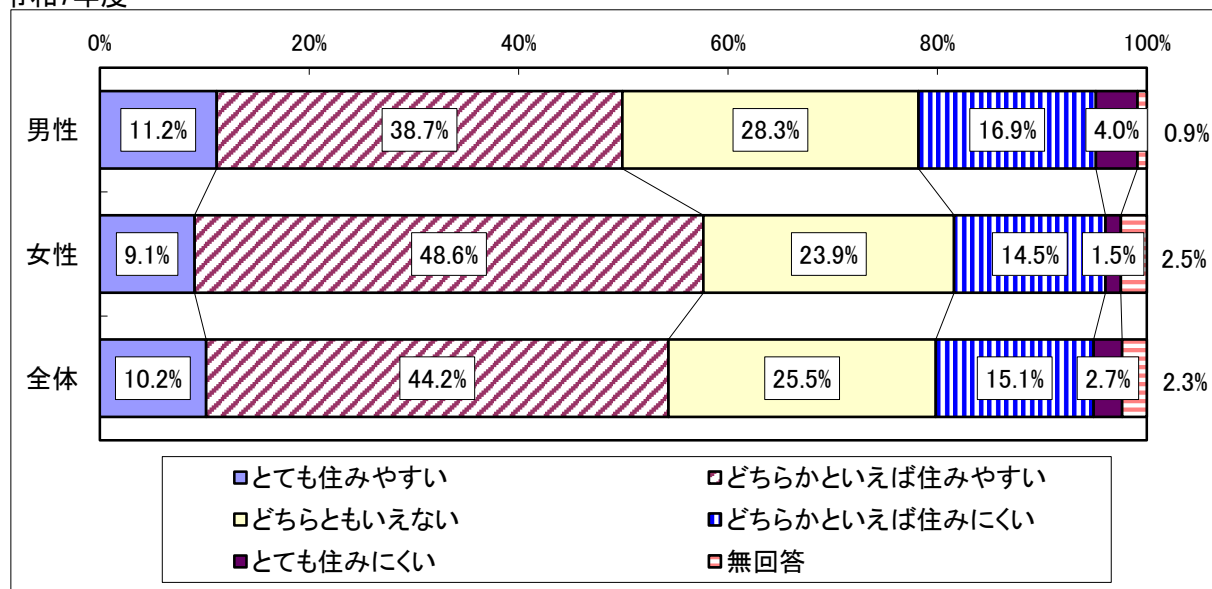
	とても住み やすい	どちらか といえ ば住み やすい	どちらとも いえない	どちらか といえ ば住み にくい	とても住み にくい	無回答
令和5年度						
回答数	133	606	317	174	33	29
構成比	10.3%	46.9%	24.5%	13.5%	2.6%	2.2%
令和6年度						
回答数	154	613	310	155	28	25
構成比	12.0%	47.7%	24.1%	12.1%	2.2%	1.9%
令和7年度						
回答数	134	583	337	199	36	31
構成比	10.2%	44.2%	25.5%	15.1%	2.7%	2.3%

前年度との比較

- ◆ “住みやすい” と回答した人の割合は、前年度 (59.7%) より5.3ポイント減少している。
- ◆ “住みにくい” と回答した人の割合は、前年度 (14.3%) より3.5ポイント増加している。

【性別】

令和7年度



性別では、「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の回答を合わせた“住みやすい”と回答した人の割合は、女性が50%を超えている。また、“住みやすい”と回答した人の割合は、女性（57.7%）が男性（49.9%）を7.8ポイント上回っている。

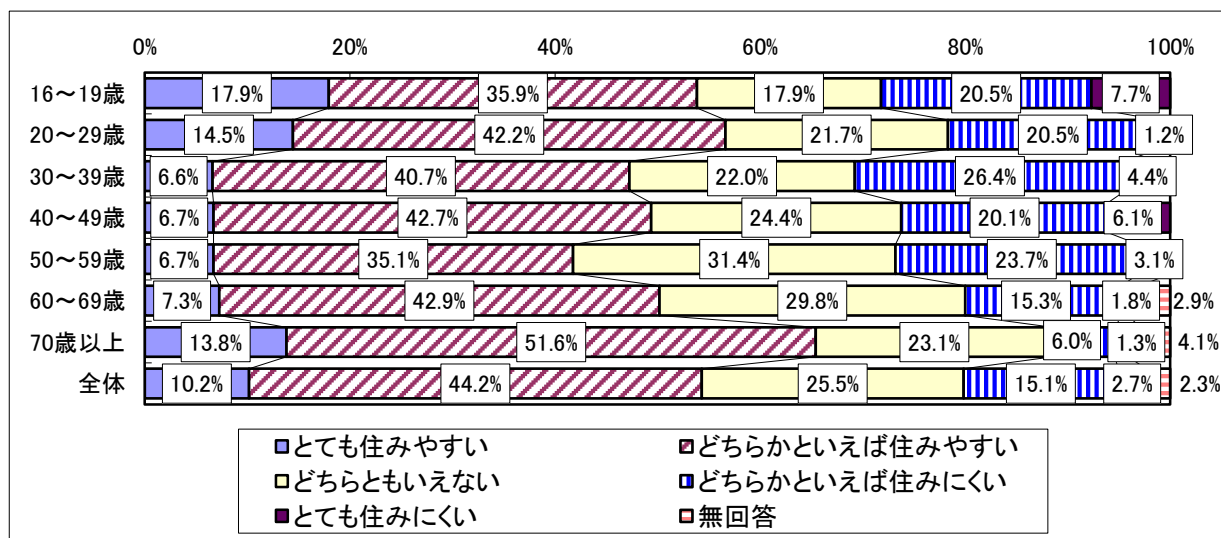
	とても住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	とても住みにくい	無回答
令和5年度						
男性	11.0%	46.0%	24.4%	13.3%	3.6%	1.7%
女性	10.0%	46.2%	25.2%	14.8%	1.5%	2.3%
令和6年度						
男性	12.0%	45.5%	24.3%	14.1%	2.5%	1.5%
女性	11.5%	49.7%	24.5%	10.6%	2.0%	1.7%
令和7年度						
男性	11.2%	38.7%	28.3%	16.9%	4.0%	0.9%
女性	9.1%	48.6%	23.9%	14.5%	1.5%	2.5%

前年度との比較

- ◆ “住みやすい”と回答した人の割合は、男性で前年度（57.5%）より7.6ポイント減少、女性で前年度（61.2%）より3.5ポイント減少している。
- ◆ “住みにくい”と回答した人の割合は、男性で前年度（16.6%）より4.3ポイント増加、女性で前年度（12.6%）より3.4ポイント増加している。

【年齢層別】

令和7年度



年齢層別では、「とても住みやすい」と答えた人の割合は、16～19歳(17.9%)が最も高く、次いで20～29歳(14.5%)となっている。また、「住みやすい」と答えた人の割合は、70歳以上(65.4%)が最も高く、次いで20～29歳(56.7%)となっている。

	とても住み やすい	どちらかとい えば住み やすい	どちらとも いえない	どちらかとい えば住み にくい	とても住み にくい	無回答
令和5年度						
16～19歳	13.5%	35.1%	18.9%	24.3%	8.1%	0.0%
20～29歳	8.1%	40.5%	24.3%	21.6%	5.4%	0.0%
30～39歳	9.0%	36.0%	26.0%	24.0%	4.0%	1.0%
40～49歳	6.8%	50.0%	25.6%	14.8%	2.3%	0.6%
50～59歳	8.6%	40.8%	26.4%	17.8%	5.7%	0.6%
60～69歳	6.5%	45.8%	31.3%	13.8%	0.7%	1.8%
70歳以上	15.3%	53.5%	19.8%	6.6%	0.9%	3.9%
令和6年度						
16～19歳	12.1%	48.5%	30.3%	9.1%	0.0%	0.0%
20～29歳	17.4%	40.6%	30.4%	8.7%	2.9%	0.0%
30～39歳	12.0%	50.0%	19.4%	16.7%	1.9%	0.0%
40～49歳	11.1%	49.0%	24.8%	10.5%	4.6%	0.0%
50～59歳	11.5%	42.9%	28.6%	13.7%	3.3%	0.0%
60～69歳	9.4%	44.3%	30.0%	12.2%	2.8%	1.4%
70歳以上	13.2%	52.2%	17.5%	11.8%	0.7%	4.8%
令和7年度						
16～19歳	17.9%	35.9%	17.9%	20.5%	7.7%	0.0%
20～29歳	14.5%	42.2%	21.7%	20.5%	1.2%	0.0%
30～39歳	6.6%	40.7%	22.0%	26.4%	4.4%	0.0%
40～49歳	6.7%	42.7%	24.4%	20.1%	6.1%	0.0%
50～59歳	6.7%	35.1%	31.4%	23.7%	3.1%	0.0%
60～69歳	7.3%	42.9%	29.8%	15.3%	1.8%	2.9%
70歳以上	13.8%	51.6%	23.1%	6.0%	1.3%	4.1%

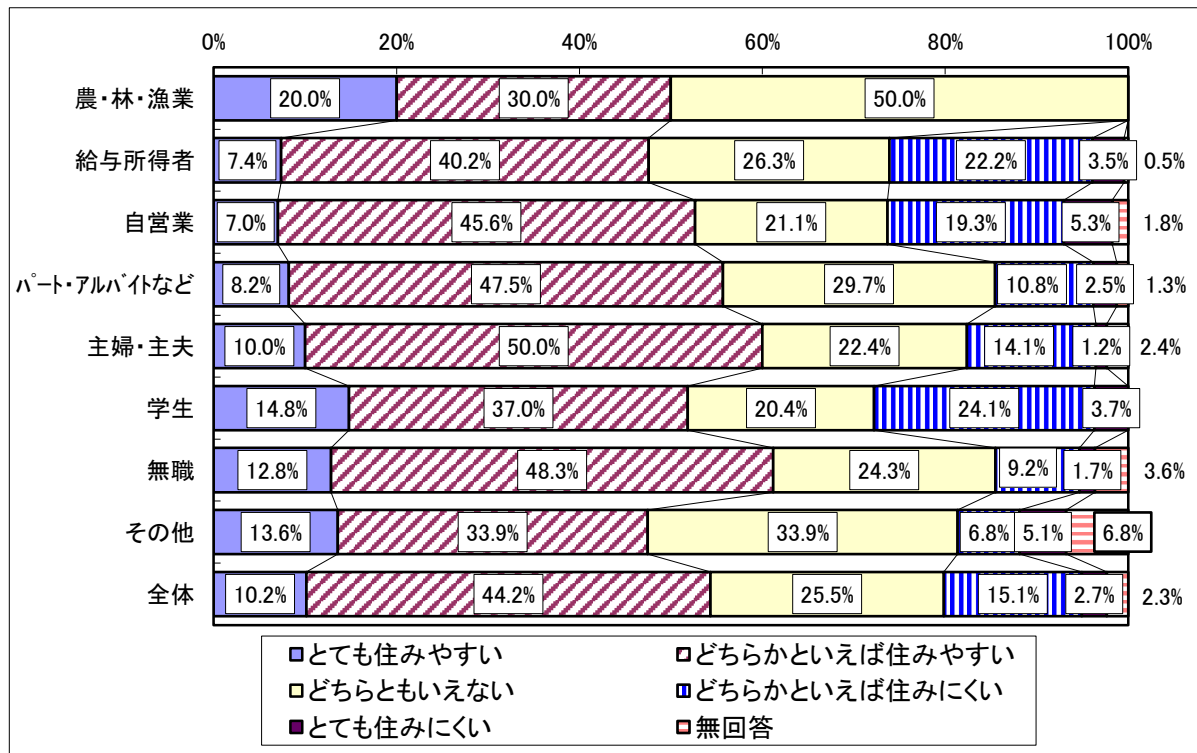
前年度との比較

◆ “住みやすい” と回答した人の割合は、70歳以上の年齢層以外の各年齢層で減少し、30～39歳の年齢層で前年度（62.0%）より14.7ポイント減少している。

◆ “住みにくい” と回答した人の割合は、70歳以上の年齢層以外の各年齢層で増加し、16～19歳の年齢層で前年度（9.1%）より19.1ポイント増加している。

【職業別】

令和7年度



職業別では、「とても住みやすい」と回答した人の割合は、農・林・漁業（20.0%）が最も高く、次いで学生（14.8%）となっている。また、「住みやすい」と回答した人の割合は、無職（61.1%）が最も高く、次いで主婦・主夫（60.0%）となっている。

	とても住み やすい	どちらかとい えば住み やすい	どちらとも いえない	どちらかとい えば住み にくい	とても住み にくい	無回答
令和5年度						
農・林・漁業	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
給与所得者	8.3%	45.1%	24.0%	18.2%	3.9%	0.5%
自営業	7.6%	48.5%	25.8%	15.2%	1.5%	1.5%
パート・アルバイトなど	5.9%	45.4%	32.2%	13.2%	1.3%	2.0%
主婦・主夫	10.3%	51.9%	23.8%	11.9%	0.0%	2.2%
学生	11.4%	34.1%	20.5%	22.7%	11.4%	0.0%
無職	13.7%	49.1%	22.6%	8.6%	1.7%	4.3%
その他	16.1%	46.8%	24.2%	9.7%	3.2%	0.0%
令和6年度						
農・林・漁業	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	11.8%	48.4%	23.9%	12.6%	2.4%	0.8%
自営業	12.3%	42.5%	28.8%	15.1%	1.4%	0.0%
パート・アルバイトなど	10.5%	42.7%	29.2%	14.6%	1.8%	1.2%
主婦・主夫	15.4%	51.2%	20.4%	9.3%	3.1%	0.6%
学生	12.5%	47.5%	27.5%	12.5%	0.0%	0.0%
無職	9.8%	51.8%	20.9%	11.9%	2.2%	3.5%
その他	24.0%	32.0%	28.0%	12.0%	2.0%	2.0%

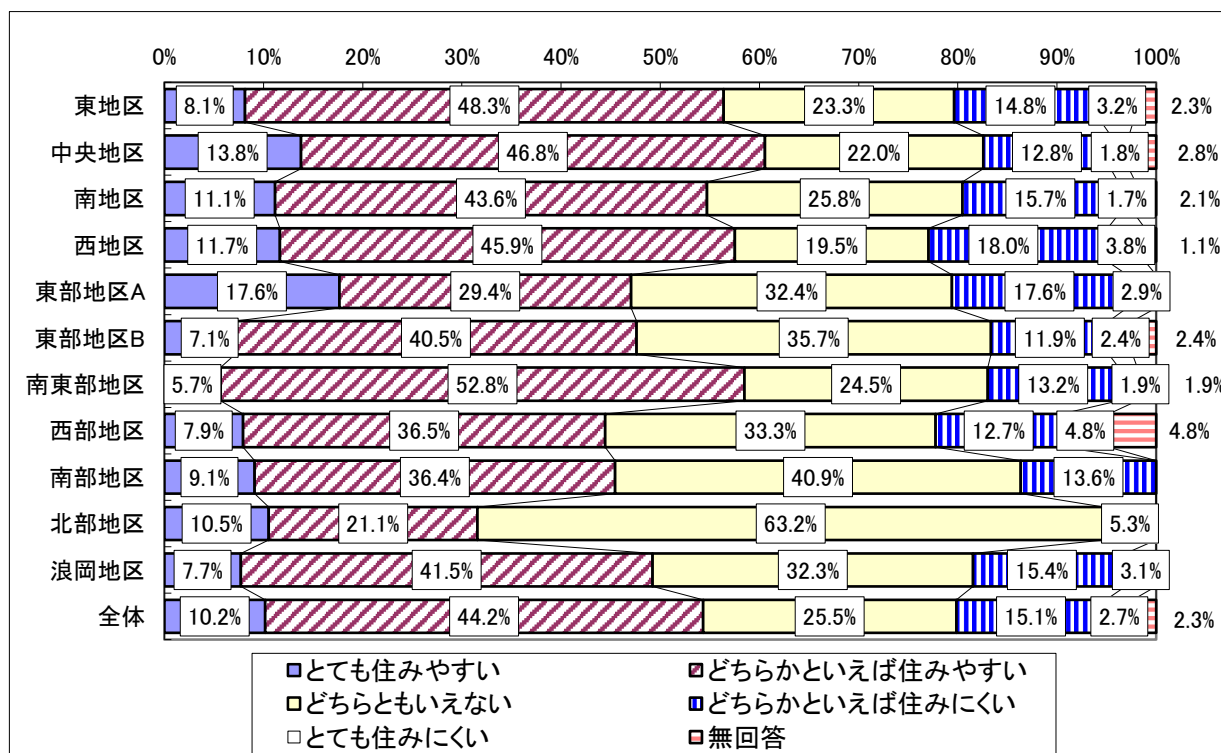
	とても住み やすい	どちらか といえ ば住み やすい	どちら とも いえ ない	どちら かとい え ば住 みに くい	とても 住 みに くい	無回答
令和7年度						
農・林・漁業	20.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	7.4%	40.2%	26.3%	22.2%	3.5%	0.5%
自営業	7.0%	45.6%	21.1%	19.3%	5.3%	1.8%
パート・アルバイトなど	8.2%	47.5%	29.7%	10.8%	2.5%	1.3%
主婦・主夫	10.0%	50.0%	22.4%	14.1%	1.2%	2.4%
学生	14.8%	37.0%	20.4%	24.1%	3.7%	0.0%
無職	12.8%	48.3%	24.3%	9.2%	1.7%	3.6%
その他	13.6%	33.9%	33.9%	6.8%	5.1%	6.8%

前年度との比較

- ◆ “住みやすい” と回答した人の割合は、パート・アルバイトなどの職業区分で前年度（53.2%）より2.5ポイント増加したが、給与所得者の職業区分で前年度（60.2%）より12.6ポイント減少している。
- ◆ “住みにくい” と回答した人の割合は、無職の職業区分で前年度（14.1%）より3.2ポイント減少したが、学生の職業区分で前年度（12.5%）より15.3ポイント増加している。

【居住地区別】

令和7年度



居住地区別では、「とても住みやすい」と答えた人の割合は、東部地区A（17.6%）が最も高く、次いで中央地区（13.8%）となっている。また、「住みやすい」と答えた人の割合は、中央地区（60.6%）が最も高く、次いで南東部地区（58.5%）となっている。

	とても住み やすい	どちらかとい えば住み やすい	どちらとも いえない	どちらかとい えば住み にくい	とても住み にくい	無回答
令和5年度						
東地区	12.2%	47.2%	21.7%	13.9%	3.8%	1.2%
中央地区	11.8%	51.0%	23.5%	10.8%	2.0%	1.0%
南地区	9.6%	47.1%	25.3%	11.9%	2.7%	3.4%
西地区	9.3%	47.2%	25.6%	14.2%	1.2%	2.4%
東部地区A	6.5%	45.2%	41.9%	3.2%	0.0%	3.2%
東部地区B	17.1%	54.3%	11.4%	14.3%	0.0%	2.9%
南東部地区	5.9%	49.0%	23.5%	13.7%	5.9%	2.0%
西部地区	7.8%	43.1%	15.7%	29.4%	2.0%	2.0%
南部地区	0.0%	56.5%	26.1%	17.4%	0.0%	0.0%
北部地区	14.3%	50.0%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%
浪岡地区	10.3%	37.2%	38.5%	12.8%	1.3%	0.0%
令和6年度						
東地区	15.3%	50.0%	23.9%	8.8%	1.1%	0.9%
中央地区	7.5%	46.2%	26.4%	12.3%	2.8%	4.7%
南地区	10.8%	47.2%	23.0%	16.4%	1.1%	1.5%
西地区	10.6%	49.4%	21.2%	11.8%	3.3%	3.7%
東部地区A	11.4%	40.9%	29.5%	13.6%	4.5%	0.0%
東部地区B	5.4%	51.4%	21.6%	16.2%	2.7%	2.7%
南東部地区	9.8%	52.9%	29.4%	5.9%	2.0%	0.0%
西部地区	11.9%	44.8%	26.9%	11.9%	4.5%	0.0%
南部地区	4.3%	43.5%	26.1%	26.1%	0.0%	0.0%
北部地区	15.0%	30.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%
浪岡地区	14.0%	45.6%	29.8%	7.0%	3.5%	0.0%

	とても住み やすい	どちらかと いえば住み やすい	どちらとも いえない	どちらかと いえば住み にくい	とても住み にくい	無回答
令和7年度						
東地区	8.1%	48.3%	23.3%	14.8%	3.2%	2.3%
中央地区	13.8%	46.8%	22.0%	12.8%	1.8%	2.8%
南地区	11.1%	43.6%	25.8%	15.7%	1.7%	2.1%
西地区	11.7%	45.9%	19.5%	18.0%	3.8%	1.1%
東部地区A	17.6%	29.4%	32.4%	17.6%	2.9%	0.0%
東部地区B	7.1%	40.5%	35.7%	11.9%	2.4%	2.4%
南東部地区	5.7%	52.8%	24.5%	13.2%	1.9%	1.9%
西部地区	7.9%	36.5%	33.3%	12.7%	4.8%	4.8%
南部地区	9.1%	36.4%	40.9%	13.6%	0.0%	0.0%
北部地区	10.5%	21.1%	63.2%	5.3%	0.0%	0.0%
浪岡地区	7.7%	41.5%	32.3%	15.4%	3.1%	0.0%

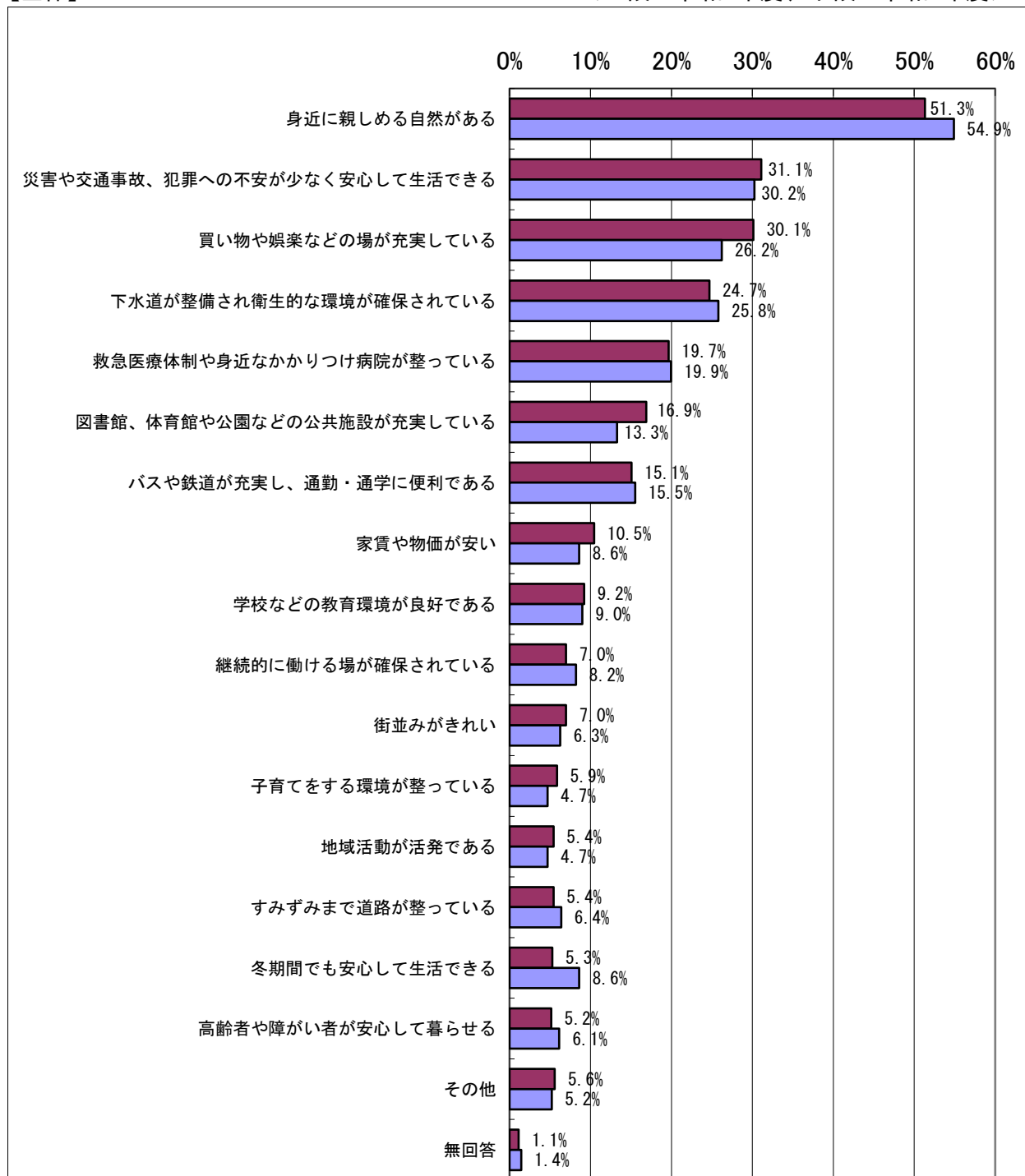
前年度との比較

- ◆ “住みやすい” と回答した人の割合は、11地区中、中央地区以外の10地区で減少している。
- ◆ “住みにくい” と回答した人の割合は、11地区中、東地区、西地区、東部地区A、南東部地区、西部地区、浪岡地区の6地区で増加している。

【問2－①】どのような点で住みやすいか3つまで選び○をつけてください。

【全体】

＜上段：令和7年度、下段：令和6年度＞



問2で「とても住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した人に対する、どのような点で住みやすいかという設問において、最も割合が高いのは「身近に親しめる自然がある」(51.3%)であった。以下、「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」(31.1%)、「買い物や娯楽などの場が充実している」(30.1%)、「下水道が整備され衛生的な環境が確保されている」(24.7%)、「救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている」(19.7%)と続いている。

【性別】

(%)

No.	項 目	男性	女性
1	地域活動が活発である	4.3	5.8
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	④ 20.6	14.7
3	継続的に働ける場が確保されている	9.4	5.6
4	買い物や娯楽などの場が充実している	② 34.7	④ 27.6
5	すみずみまで道路が整っている	5.1	5.3
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	12.6	17.2
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	⑤ 20.2	③ 28.1
8	子育てをする環境が整っている	6.5	5.8
9	学校などの教育環境が良好である	9.4	9.9
10	身近に親しめる自然がある	① 52.3	① 51.4
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	3.2	5.3
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	15.5	⑤ 21.0
13	冬期間でも安心して生活できる	5.1	4.8
14	街並みがきれい	9.7	5.3
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	③ 27.4	② 33.7
16	家賃や物価が安い	13.0	8.6
17	その他	5.4	6.3

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

男女ともに最も割合が高いのは「身近に親しめる自然がある」で、男性では「図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している」、女性では「救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている」の割合が高くなっている。

【年齢層別】

(%)

No.	項 目	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1	地域活動が活発である	4.8	6.4	7.0	3.7	2.5	5.8	6.3
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	④ 33.3	⑤ 14.9	③ 25.6	④ 21.0	13.6	⑤ 17.4	14.2
3	継続的に働ける場が確保されている	0.0	6.4	④ 16.3	11.1	⑤ 14.8	8.0	2.6
4	買い物や娯楽などの場が充実している	② 38.1	② 38.3	② 27.9	② 30.9	③ 27.2	③ 31.2	⑤ 28.7
5	すみずみまで道路が整っている	0.0	4.3	2.3	3.7	6.2	2.9	7.9
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	9.5	8.5	9.3	16.0	8.6	13.0	19.8
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	14.3	4.3	11.6	④ 21.0	④ 21.0	④ 25.4	④ 32.3
8	子育てをする環境が整っている	0.0	8.5	④ 16.3	12.3	7.4	2.9	3.6
9	学校などの教育環境が良好である	19.0	6.4	14.0	④ 21.0	8.6	5.1	7.3
10	身近に親しめる自然がある	① 42.9	① 51.1	① 53.5	① 44.4	① 58.0	① 64.5	① 45.2
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	4.8	6.4	0.0	1.2	1.2	2.9	8.9
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	9.5	2.1	4.7	4.9	7.4	16.7	② 34.0
13	冬期間でも安心して生活できる	4.8	4.3	0.0	4.9	2.5	5.8	6.6
14	街並みがきれい	19.0	10.6	11.6	7.4	8.6	8.7	3.3
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	② 38.1	④ 21.3	14.0	③ 22.2	② 35.8	② 37.0	③ 33.0
16	家賃や物価が安い	⑤ 28.6	③ 27.7	14.0	6.2	13.6	11.6	5.3
17	その他	0.0	4.3	4.7	14.8	7.4	3.6	4.3

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての年齢層において「身近に親しめる自然がある」の割合が最も高くなっている。
「買い物や娯楽などの場が充実している」が全ての年齢層において、上位5項目に入っている。

【職業別】

(%)

No.	項 目	農・林・漁業	給与所得者	自営業	パート・アルバイトなど	主婦・主夫	学生	無職	その他
1	地域活動が活発である	0.0	4.0	0.0	3.5	6.9	11.1	6.9	3.7
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	③ 20.0	⑤ 18.6	⑤ 10.3	16.3	17.8	② 33.3	16.5	7.4
3	継続的に働ける場が確保されている	② 40.0	16.1	3.4	11.6	1.0	0.0	0.9	7.4
4	買い物や娯楽などの場が充実している	③ 20.0	② 29.6	④ 37.9	② 38.4	④ 30.7	② 33.3	④ 28.9	② 25.9
5	すみずみまで道路が整っている	③ 20.0	4.0	3.4	3.5	9.9	3.7	6.0	3.7
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	③ 20.0	13.6	3.4	④ 23.3	18.8	7.4	15.1	11.1
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	0.0	④ 21.1	③ 41.4	④ 23.3	⑤ 28.7	11.1	⑤ 28.0	③ 22.2
8	子育てをする環境が整っている	0.0	9.5	3.4	2.3	5.0	3.7	3.7	⑤ 14.8
9	学校などの教育環境が良好である	0.0	10.6	⑤ 10.3	11.6	13.9	18.5	4.1	11.1
10	身近に親しめる自然がある	① 60.0	① 59.3	① 51.7	① 54.7	① 49.5	① 40.7	① 50.5	① 44.4
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	0.0	2.0	6.9	3.5	4.0	11.1	7.8	7.4
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	0.0	8.5	6.9	4.7	② 37.6	7.4	③ 32.1	④ 18.5
13	冬期間でも安心して生活できる	0.0	4.5	6.9	3.5	3.0	0.0	7.8	3.7
14	街並みがきれい	0.0	11.1	3.4	3.5	5.0	14.8	5.5	7.4
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	③ 20.0	③ 26.6	② 48.3	③ 32.6	③ 31.7	② 33.3	② 36.2	11.1
16	家賃や物価が安い	0.0	14.1	⑤ 10.3	11.6	5.0	⑤ 29.6	7.8	11.1
17	その他	0.0	8.5	3.4	8.1	3.0	0.0	4.6	7.4

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての職業区分において「身近に親しめる自然がある」の割合が最も高くなっている。

「買い物や娯楽などの場が充実している」が、全ての職業区分において、上位5項目に入っている。

【居住地区別】

(%)

No.	項 目	東	中央	南	西	東部A	東部B	南東部	西部	南部	北部	浪岡
1	地域活動が活発である	3.2	7.6	5.8	5.3	6.7	0.0	9.7	3.6	④ 20.0	0.0	6.9
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している	15.9	④ 25.8	18.1	17.2	⑤ 13.3	5.3	④ 19.4	⑤ 21.4	10.0	0.0	10.3
3	継続的に働ける場が確保されている	7.9	7.6	7.7	6.6	6.7	0.0	⑤ 12.9	3.6	10.0	⑤ 16.7	0.0
4	買い物や娯楽などの場が充実している	③ 30.2	② 27.3	② 35.5	② 35.1	6.7	④ 15.8	③ 25.8	③ 25.0	④ 20.0	0.0	③ 37.9
5	すみずみまで道路が整っている	6.3	6.1	3.2	5.3	⑤ 13.3	④ 15.8	3.2	3.6	10.0	0.0	6.9
6	バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である	16.4	18.2	14.2	18.5	0.0	10.5	0.0	③ 25.0	10.0	⑤ 16.7	13.8
7	下水道が整備され衛生的な環境が確保されている	② 31.2	⑤ 24.2	④ 26.5	④ 20.5	② 40.0	③ 42.1	⑤ 12.9	7.1	③ 30.0	0.0	④ 20.7
8	子育てをする環境が整っている	3.2	4.5	5.8	9.3	6.7	10.5	3.2	7.1	0.0	0.0	13.8
9	学校などの教育環境が良好である	9.0	6.1	13.5	9.3	6.7	10.5	0.0	17.9	0.0	0.0	6.9
10	身近に親しめる自然がある	① 53.4	① 53.0	① 47.1	① 49.7	① 66.7	② 47.4	① 74.2	② 42.9	① 70.0	① 50.0	① 62.1
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせる	5.3	3.0	5.2	4.6	6.7	5.3	6.5	7.1	10.0	③ 33.3	3.4
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている	⑤ 23.3	15.2	⑤ 23.2	⑤ 19.2	④ 26.7	5.3	9.7	17.9	10.0	0.0	④ 20.7
13	冬期間でも安心して生活できる	4.8	3.0	7.7	2.6	6.7	④ 15.8	6.5	10.7	10.0	0.0	0.0
14	街並みがきれい	7.9	12.1	2.6	6.6	⑤ 13.3	10.5	9.7	3.6	0.0	0.0	13.8
15	災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる	③ 30.2	② 27.3	③ 29.0	③ 28.5	③ 33.3	① 52.6	② 32.3	① 46.4	② 50.0	① 50.0	② 48.3
16	家賃や物価が安い	10.1	9.1	10.3	11.3	⑤ 13.3	10.5	9.7	17.9	0.0	⑤ 16.7	10.3
17	その他	5.8	7.6	5.2	4.0	0.0	10.5	9.7	0.0	0.0	33.3	10.3

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

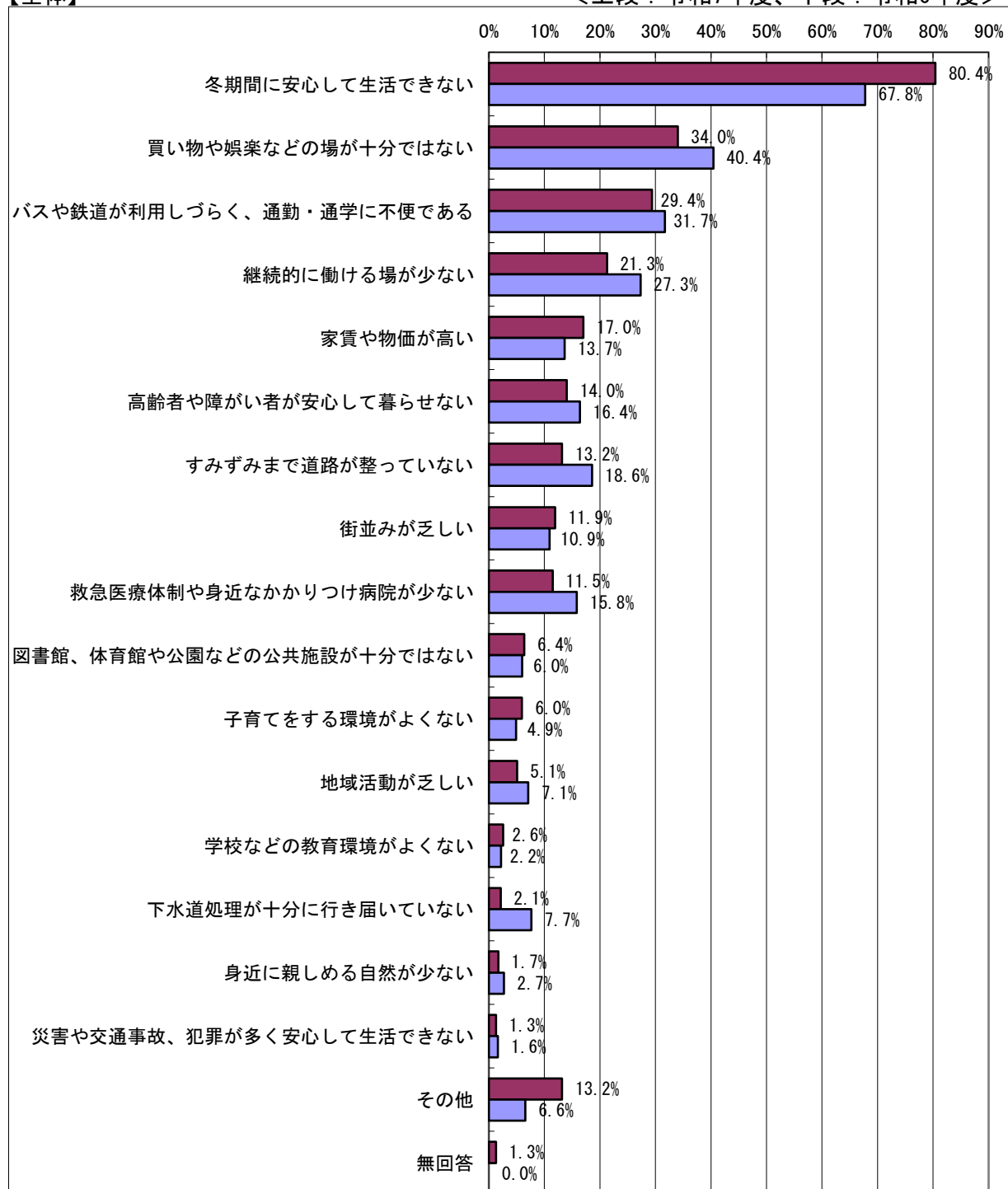
東部地区B及び西部地区を除く全ての地区において、「身近に親しめる自然がある」の割合が最も高くなっている。東部地区B、西部地区及び北部地区では「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」の割合が最も高くなっている。

「災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる」が全ての地区において、上位5項目に入っている。

【問2－②】どのような点で住みにくいのか3つまで選び○をつけてください。

【全体】

<上段：令和7年度、下段：令和6年度>



問2で「とても住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」と回答した人に対する、どのような点で住みにくいのかという設問において、最も割合が高いのは「冬期間に安心して生活できない」(80.4%)であった。以下、「買い物や娯楽などの場が十分ではない」(34.0%)、「バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である」(29.4%)、「継続的に働ける場が少ない」(21.3%)、「家賃や物価が高い」(17.0%)と続いている。

【性別】

(%)

No.	項 目	男性	女性
1	地域活動が乏しい	4.3	5.5
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	2.6	11.0
3	継続的に働ける場が少ない	④ 22.4	④ 20.2
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	② 34.5	③ 33.9
5	すみずみまで道路が整っていない	13.8	11.9
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	③ 25.0	② 34.9
7	下水処理が十分に行き届いていない	2.6	1.8
8	子育てをする環境がよいくない	7.8	4.6
9	学校などの教育環境がよいくない	2.6	2.8
10	身近に親しめる自然が少ない	2.6	0.9
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	12.1	16.5
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	8.6	14.7
13	冬期間に安心して生活できない	① 81.0	① 80.7
14	街並みが乏しい	16.4	7.3
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	1.7	0.9
16	家賃や物価が高い	16.4	⑤ 18.3
17	その他	⑤ 17.2	8.3

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

男女ともに上位4項目は、同じ項目が選ばれている。5番目について、男性は「その他」、女性は「家賃や物価が高い」となっている。

【年齢層別】

(%)

No.	項 目	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1	地域活動が乏しい	9.1	11.1	3.6	2.3	5.8	4.3	2.9
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	9.1	5.6	14.3	7.0	1.9	6.4	5.9
3	継続的に働ける場が少ない	0.0	11.1	③ 17.9	② 32.6	③ 28.8	④ 19.1	11.8
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	① 81.8	② 55.6	② 46.4	④ 27.9	③ 28.8	② 29.8	④ 20.6
5	すみずみまで道路が整っていない	④ 27.3	5.6	③ 17.9	14.0	13.5	8.5	14.7
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	③ 36.4	③ 38.9	7.1	② 32.6	② 34.6	② 29.8	③ 29.4
7	下水処理が十分に行き届いていない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	8.5	0.0
8	子育てをする環境がよくない	0.0	11.1	14.3	11.6	1.9	2.1	2.9
9	学校などの教育環境がよくない	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	4.3	2.9
10	身近に親しめる自然が少ない	9.1	0.0	0.0	0.0	1.9	2.1	2.9
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	9.1	5.6	7.1	4.7	15.4	⑤ 14.9	② 35.3
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	0.0	5.6	3.6	11.6	11.5	⑤ 14.9	④ 20.6
13	冬期間に安心して生活できない	② 45.5	① 66.7	① 89.3	① 88.4	① 84.6	① 83.0	① 76.5
14	街並みが乏しい	⑤ 18.2	④ 22.2	10.7	16.3	7.7	4.3	17.6
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0
16	家賃や物価が高い	9.1	16.7	③ 17.9	⑤ 23.3	⑤ 17.3	⑤ 14.9	14.7
17	その他	⑤ 18.2	④ 22.2	③ 17.9	4.7	⑤ 17.3	⑤ 14.9	0.0

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

16～19歳を除く全ての年齢層において、「冬期間に安心して生活できない」の割合が最も高くなっている。16～19歳の年齢層では「買い物や娯楽などの場が十分ではない」の割合が最も高くなっている。

全ての年齢層において、「買い物や娯楽などの場が十分ではない」、「冬期間に安心して生活できない」が上位5項目に入っている。

【職業別】

(%)

No.	項 目	農・林・漁業	給与所得者	自営業	パート・アルバイトなど	主婦・主夫	学生	無職	その他
1	地域活動が乏しい	0.0	3.6	7.1	14.3	0.0	13.3	2.6	0.0
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	0.0	7.2	0.0	9.5	11.5	6.7	2.6	0.0
3	継続的に働ける場が少ない	0.0	④ 22.5	④ 21.4	② 38.1	11.5	6.7	④ 23.1	0.0
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	0.0	② 36.0	② 35.7	④ 23.8	② 38.5	① 80.0	12.8	② 42.9
5	すみずみまで道路が整っていない	0.0	13.5	⑤ 14.3	⑤ 19.0	3.8	⑤ 20.0	10.3	③ 28.6
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	0.0	③ 26.1	⑤ 14.3	② 38.1	③ 30.8	③ 40.0	② 38.5	14.3
7	下水処理が十分に行き届いていない	0.0	2.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
8	子育てをする環境がよくない	0.0	9.9	7.1	0.0	3.8	0.0	2.6	0.0
9	学校などの教育環境がよくない	0.0	1.8	7.1	4.8	3.8	0.0	2.6	0.0
10	身近に親しめる自然が少ない	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	6.7	2.6	0.0
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	0.0	8.1	⑤ 14.3	⑤ 19.0	⑤ 23.1	6.7	③ 25.6	14.3
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	0.0	7.2	7.1	⑤ 19.0	19.2	0.0	⑤ 17.9	③ 28.6
13	冬期間に安心して生活できない	0.0	① 82.9	① 78.6	① 90.5	① 88.5	② 46.7	① 79.5	① 85.7
14	街並みが乏しい	0.0	12.6	7.1	4.8	7.7	④ 26.7	12.8	14.3
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	6.7	2.6	0.0
16	家賃や物価が高い	0.0	⑤ 18.0	② 35.7	4.8	④ 26.9	6.7	10.3	③ 28.6
17	その他	0.0	16.2	⑤ 14.3	0.0	7.7	13.3	10.3	14.3

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

農・林・漁業の職業区分は「住みにくい」の回答がなかった。

学生を除く各職業区分では「冬期間に安心して生活できない」の割合が最も高くなっている。
学生の職業区分では、「買い物や娯楽などの場が十分ではない」の割合が最も高くなっている。

【居住地区別】

(%)

No.	項 目	東	中央	南	西	東部A	東部B	南東部	西部	南部	北部	浪岡
1	地域活動が乏しい	1.6	⑤ 12.5	0.0	6.9	0.0	④ 16.7	⑤ 12.5	9.1	0.0	0.0	8.3
2	図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない	6.5	0.0	12.0	6.9	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
3	継続的に働ける場が少ない	③ 21.0	⑤ 12.5	18.0	④ 31.0	④ 14.3	③ 33.3	0.0	③ 27.3	0.0	0.0	8.3
4	買い物や娯楽などの場が十分ではない	② 27.4	② 56.3	③ 32.0	② 32.8	② 42.9	④ 16.7	② 50.0	② 36.4	① 66.7	① 100.0	② 33.3
5	すみずみまで道路が整っていない	⑤ 17.7	0.0	18.0	12.1	0.0	④ 16.7	⑤ 12.5	⑤ 18.2	0.0	0.0	0.0
6	バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である	③ 21.0	③ 37.5	② 34.0	② 32.8	③ 28.6	② 66.7	③ 37.5	9.1	① 66.7	0.0	⑤ 16.7
7	下水処理が十分に行き届いていない	1.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	⑤ 18.2	0.0	0.0	8.3
8	子育てをする環境がよくない	6.5	6.3	4.0	6.9	④ 14.3	④ 16.7	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
9	学校などの教育環境がよくない	1.6	⑤ 12.5	2.0	1.7	0.0	0.0	⑤ 12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10	身近に親しめる自然が少ない	3.2	6.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	高齢者や障がい者が安心して暮らせない	14.5	④ 18.8	8.0	⑤ 19.0	0.0	④ 16.7	⑤ 12.5	③ 27.3	0.0	0.0	8.3
12	救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない	9.7	6.3	10.0	8.6	④ 14.3	0.0	③ 37.5	9.1	④ 33.3	① 100.0	③ 25.0
13	冬期間に安心して生活できない	① 80.6	① 75.0	① 78.0	① 84.5	① 100.0	① 83.3	① 75.0	① 81.8	① 66.7	① 100.0	① 75.0
14	街並みが乏しい	16.1	⑤ 12.5	14.0	12.1	④ 14.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
15	災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16	家賃や物価が高い	16.1	⑤ 12.5	④ 30.0	13.8	④ 14.3	④ 16.7	0.0	9.1	④ 33.3	0.0	8.3
17	その他	14.5	⑤ 12.5	⑤ 20.0	6.9	0.0	0.0	⑤ 12.5	0.0	④ 33.3	0.0	③ 25.0

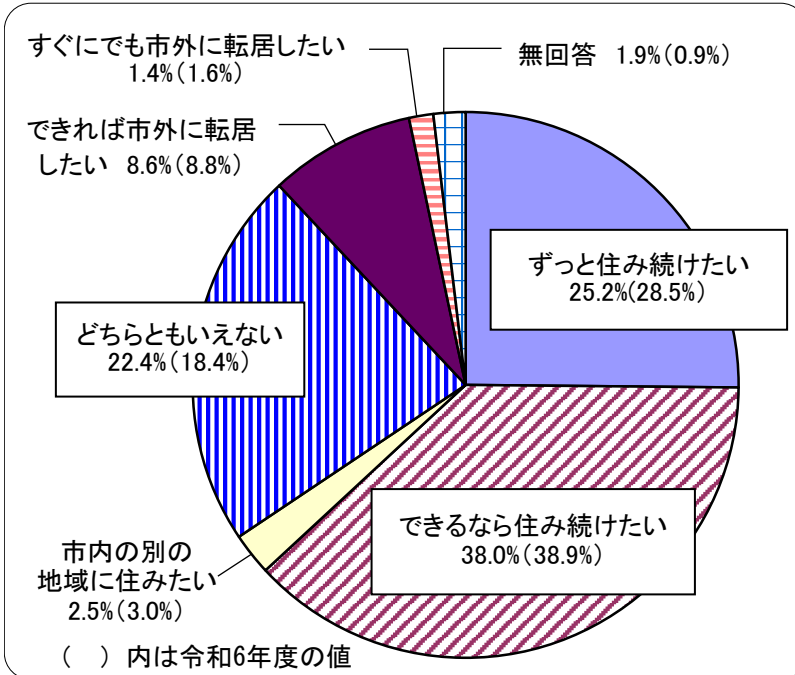
※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

全ての地区において「冬期間に安心して生活できない」の割合が最も高くなっている。
全地区において「買い物や娯楽などの場が十分ではない」が上位5項目に入っている。

【問3】あなたは、今後も青森市に住みたいと思いますか。（○は1つ）

【全体】

令和7年度



25.2%の人が「ずっと住みたい」と回答しており、これに「できるなら住みたい」の38.0%と「市内の別の地域に住みたい」の2.5%を加えた、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、65.7%となっている。

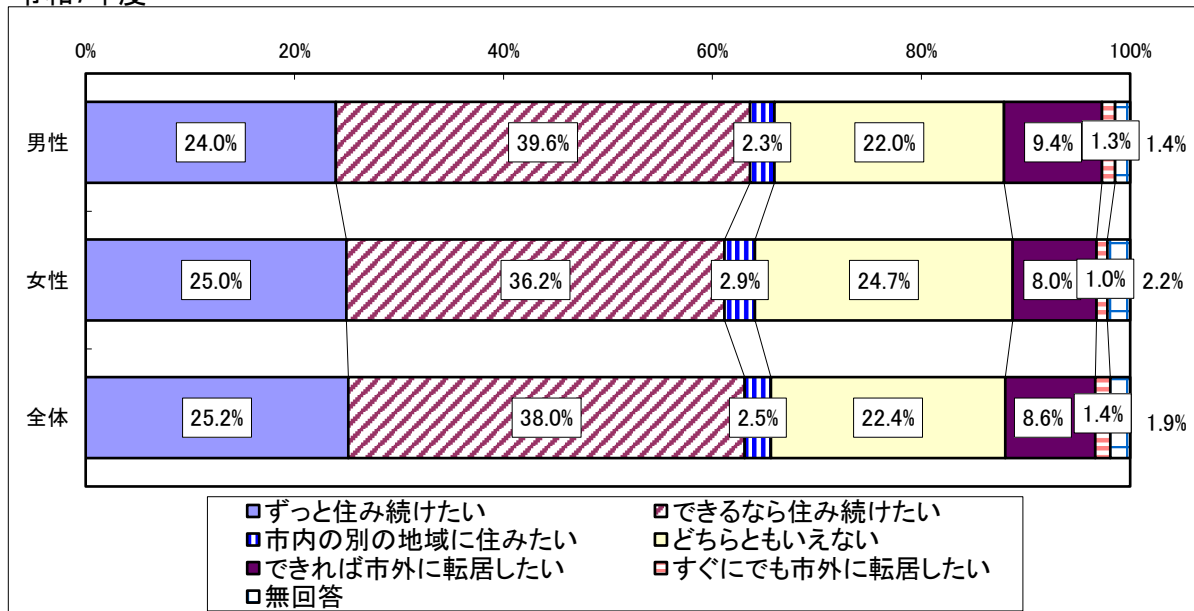
	ずっと住 みたい	できるなら 住みたい	市内の別 の地域に住 みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和5年度							
回答数	359	486	34	250	118	18	27
構成比	27.8%	37.6%	2.6%	19.3%	9.1%	1.4%	2.1%
令和6年度							
回答数	366	500	38	237	113	20	11
構成比	28.5%	38.9%	3.0%	18.4%	8.8%	1.6%	0.9%
令和7年度							
回答数	332	501	33	296	114	19	25
構成比	25.2%	38.0%	2.5%	22.4%	8.6%	1.4%	1.9%

前年度との比較

- ◆ “今後も青森市に住みたい” と回答した人の割合は、前年度（70.4%）より4.7ポイント減少している。
- ◆ “青森市から転居したい” と回答した人の割合は、前年度（10.4%）より0.4ポイント減少している。

【性別】

令和7年度



性別では、「ずっと住みたい」と回答した人の割合は、男性が24.0%、女性が25.0%であった。また、「今後も青森市に住みたい」と回答した人の割合は、男性が65.9%、女性が64.1%であった。

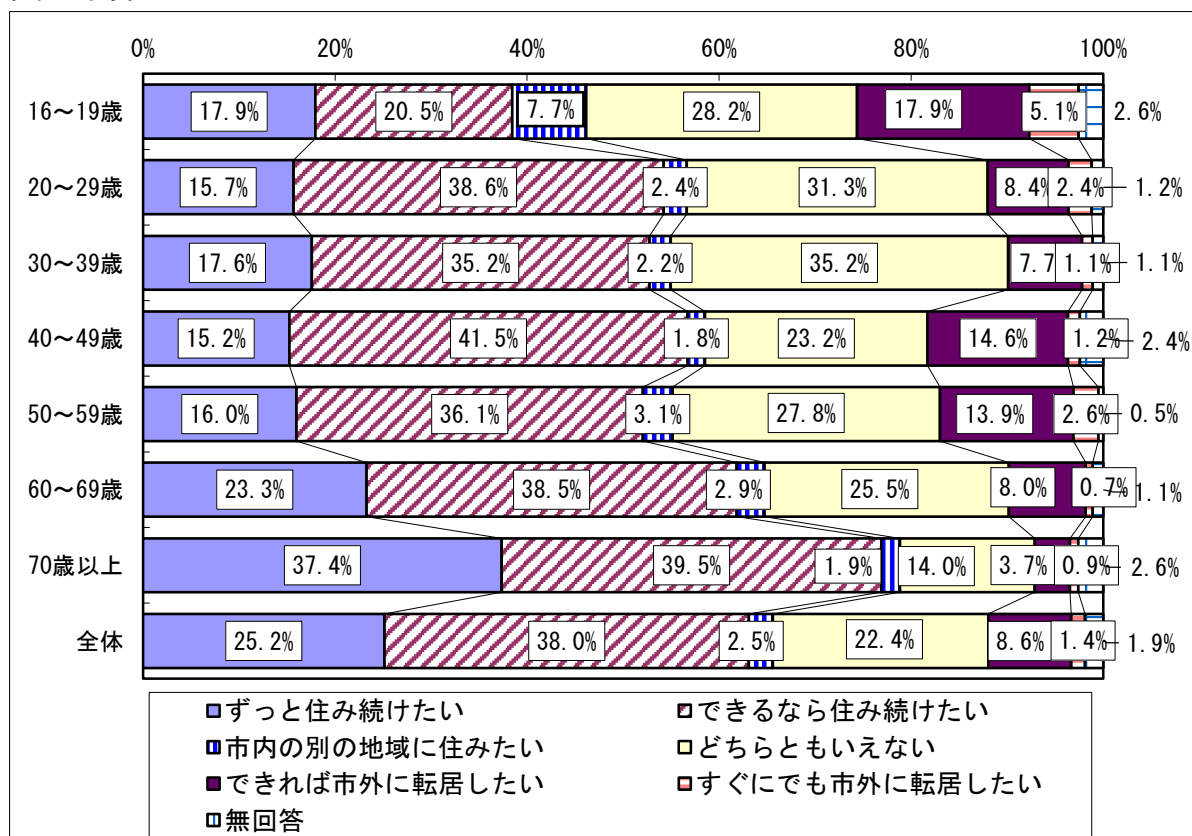
	ずっと住みたい	できるなら住みたい	市内の別の地域に住みたい	どちらともいえない	できれば市外に転居したい	すぐにでも市外に転居したい	無回答
令和5年度							
男性	29.0%	37.3%	2.3%	18.4%	10.0%	1.1%	1.9%
女性	26.7%	37.8%	2.9%	20.4%	8.8%	1.6%	1.8%
令和6年度							
男性	26.6%	42.3%	3.1%	16.8%	9.4%	1.1%	0.8%
女性	28.9%	37.2%	2.4%	20.3%	8.5%	1.6%	1.0%
令和7年度							
男性	24.0%	39.6%	2.3%	22.0%	9.4%	1.3%	1.4%
女性	25.0%	36.2%	2.9%	24.7%	8.0%	1.0%	2.2%

前年度との比較

- ◆ “今後も青森市に住みたい” と回答した人の割合は、男性は前年度（72.0%）より6.1ポイント、女性は前年度（68.5%）より4.4ポイントそれぞれ減少している。
- ◆ “青森市から転居したい” と回答した人の割合は、男性は前年度（10.5%）より0.2ポイント増加し、女性は前年度（10.1%）より1.1ポイント減少している。

【年齢層別】

令和7年度



年齢層別では、「ずっと住みたい」と回答した人の割合は、70歳以上(37.4%)が最も高く、40～49歳(15.2%)が最も低い。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合については、70歳以上(78.8%)が最も高く、16～19歳(46.1%)が最も低くなっている。

	ずっと住 みたい	できるなら 住み続けたい	市内の別 の地域に 住みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和5年度							
16～19歳	8.1%	29.7%	0.0%	16.2%	32.4%	13.5%	0.0%
20～29歳	10.8%	35.1%	2.7%	21.6%	24.3%	2.7%	2.7%
30～39歳	13.0%	36.0%	1.0%	28.0%	14.0%	5.0%	3.0%
40～49歳	15.9%	44.3%	2.3%	28.4%	9.1%	0.0%	0.0%
50～59歳	21.3%	36.8%	1.7%	24.7%	11.5%	2.3%	1.7%
60～69歳	30.5%	38.2%	2.9%	20.0%	5.5%	0.4%	2.5%
70歳以上	41.5%	37.1%	3.6%	10.9%	5.0%	0.2%	1.6%
令和6年度							
16～19歳	6.1%	24.2%	0.0%	30.3%	36.4%	3.0%	0.0%
20～29歳	10.1%	37.7%	2.9%	29.0%	18.8%	1.4%	0.0%
30～39歳	22.2%	33.3%	1.9%	23.1%	13.9%	1.9%	3.7%
40～49歳	26.1%	43.1%	3.9%	17.6%	6.5%	2.6%	0.0%
50～59歳	20.9%	35.7%	1.1%	29.1%	9.9%	2.7%	0.5%
60～69歳	23.7%	41.5%	5.2%	17.4%	9.8%	1.7%	0.7%
70歳以上	41.7%	40.1%	2.3%	10.7%	3.9%	0.5%	0.9%

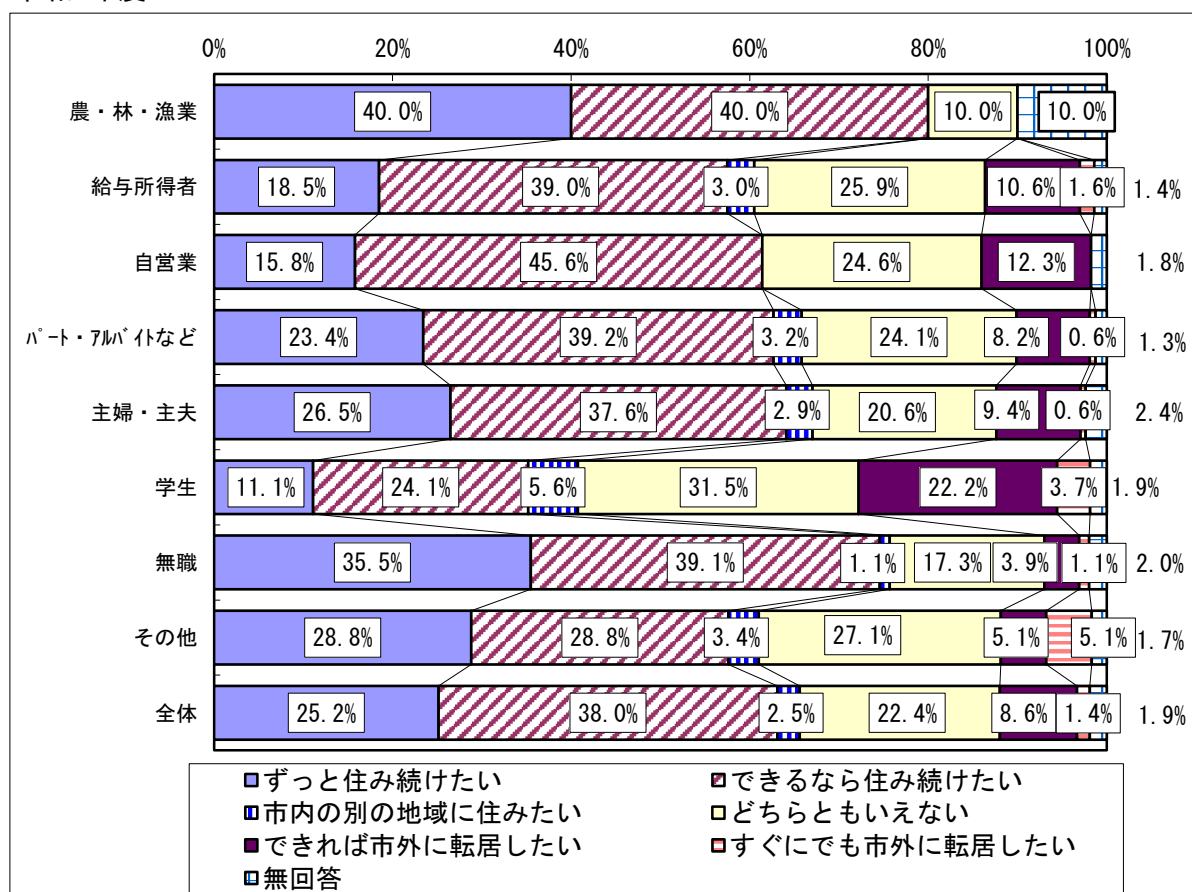
	ずっと住み 続けたい	できるなら 住み続けた い	市内の別 の地域に 住みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和7年度							
16～19歳	17.9%	20.5%	7.7%	28.2%	17.9%	5.1%	2.6%
20～29歳	15.7%	38.6%	2.4%	31.3%	8.4%	2.4%	1.2%
30～39歳	17.6%	35.2%	2.2%	35.2%	7.7%	1.1%	1.1%
40～49歳	15.2%	41.5%	1.8%	23.2%	14.6%	1.2%	2.4%
50～59歳	16.0%	36.1%	3.1%	27.8%	13.9%	2.6%	0.5%
60～69歳	23.3%	38.5%	2.9%	25.5%	8.0%	0.7%	1.1%
70歳以上	37.4%	39.5%	1.9%	14.0%	3.7%	0.9%	2.6%

前年度との比較

- ◆ “今後も青森市に住みたい” と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（30.3%）より15.8ポイント増加したが、40～49歳の年齢層で前年度（73.1%）より14.6ポイント減少している。
- ◆ “青森市から転居したい” と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（39.4%）より16.4ポイント減少したが、40～49歳の年齢層で前年度（9.1%）より6.7ポイント増加している。

【職業別】

令和7年度



職業別では、「ずっと住みたい」と回答した人の割合は、農・林・漁業(40.0%)が最も高く、学生(11.1%)が最も低い。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合については、農・林・漁業(80.0%)が最も高く、学生(40.8%)が最も低くなっている。

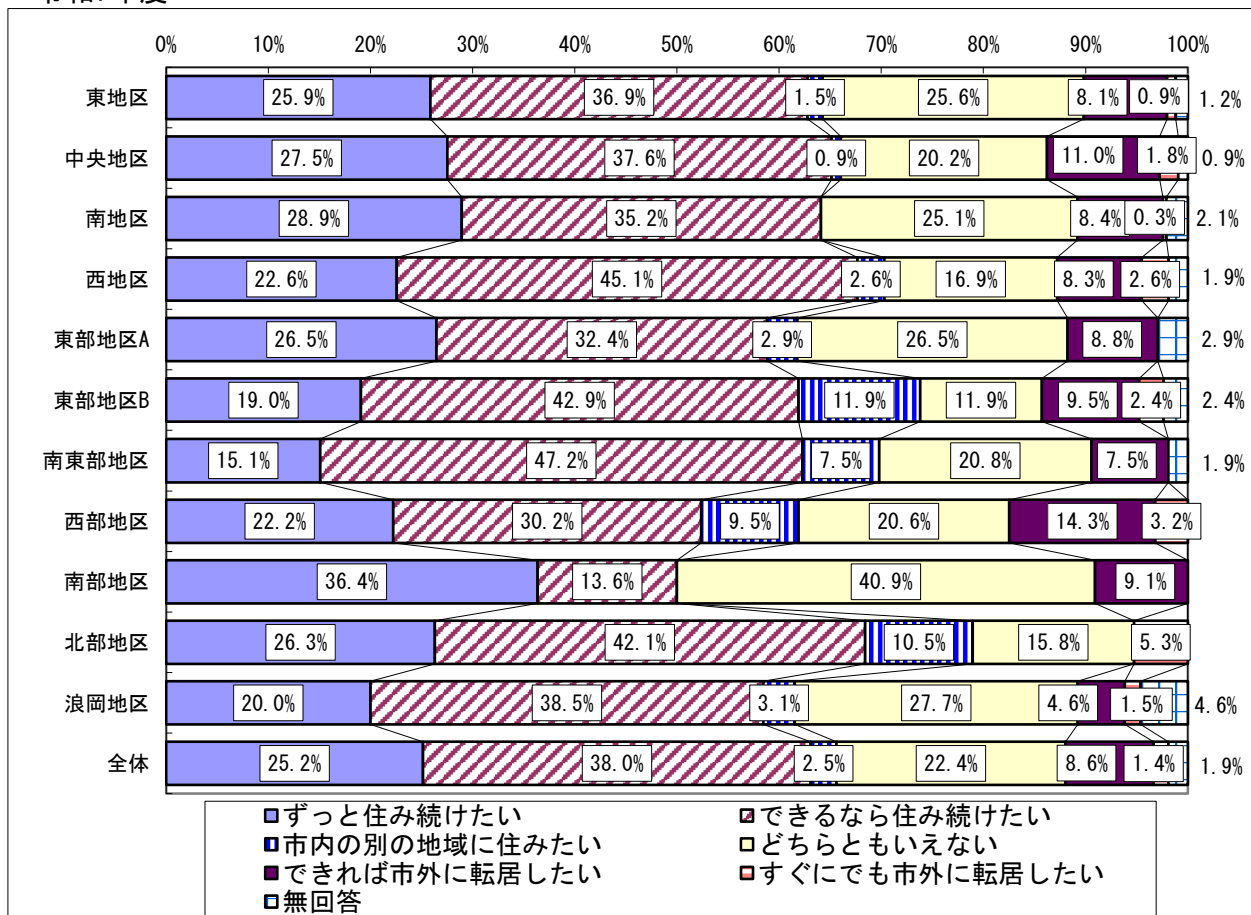
	ずっと住 みたい	できるなら 住みたい	市内の別 の地域に 住みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和5年度							
農・林・漁業	38.9%	38.9%	0.0%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
給与所得者	21.1%	39.8%	2.3%	21.1%	12.2%	1.8%	1.6%
自営業	24.2%	45.5%	1.5%	22.7%	6.1%	0.0%	0.0%
パート・アルバイトなど	19.1%	36.8%	4.6%	25.0%	9.9%	2.0%	2.6%
主婦・主夫	34.6%	35.1%	2.2%	19.5%	5.9%	0.0%	2.7%
学生	11.4%	29.5%	0.0%	13.6%	29.5%	15.9%	0.0%
無職	38.3%	37.4%	3.1%	13.4%	5.7%	0.3%	1.7%
その他	24.2%	38.7%	3.2%	27.4%	4.8%	0.0%	1.6%
令和6年度							
農・林・漁業	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
給与所得者	22.6%	42.6%	2.9%	20.5%	9.2%	1.3%	0.8%
自営業	24.7%	43.8%	1.4%	13.7%	13.7%	1.4%	1.4%
パート・アルバイトなど	21.1%	36.3%	4.1%	22.8%	13.5%	1.8%	0.6%
主婦・主夫	35.2%	38.3%	1.9%	15.4%	4.9%	2.5%	1.9%
学生	10.0%	22.5%	2.5%	30.0%	32.5%	2.5%	0.0%
無職	36.3%	39.3%	3.3%	14.1%	5.4%	0.8%	0.8%
その他	32.0%	30.0%	4.0%	28.0%	4.0%	2.0%	0.0%

	ずっと住み 続けたい	できるなら 住み続けたい	市内の別 の地域に 住みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和7年度							
農・林・漁業	40.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
給与所得者	18.5%	39.0%	3.0%	25.9%	10.6%	1.6%	1.4%
自営業	15.8%	45.6%	0.0%	24.6%	12.3%	0.0%	1.8%
パート・アルバイトなど	23.4%	39.2%	3.2%	24.1%	8.2%	0.6%	1.3%
主婦・主夫	26.5%	37.6%	2.9%	20.6%	9.4%	0.6%	2.4%
学生	11.1%	24.1%	5.6%	31.5%	22.2%	3.7%	1.9%
無職	35.5%	39.1%	1.1%	17.3%	3.9%	1.1%	2.0%
その他	28.8%	28.8%	3.4%	27.1%	5.1%	5.1%	1.7%

前年度との比較

- ◆ “今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、パート・アルバイトなど、学生の各職業区分において増加している。
- ◆ “青森市から転居したい”と回答した人の割合は、農・林・漁業、自営業、パート・アルバイトなど、学生、無職の各職業区分において減少している。

【居住地区別】
令和7年度



居住地区別では、「ずっと住みたい」と回答した人の割合は、南部地区(36.4%)が最も高く、次いで南地区(28.9%)、中央地区(27.5%)となっている。また、“今後も青森市に住みたい”と回答した人の割合は、北部地区(78.9%)が最も高く、東部地区B (73.8%)、西地区(70.3%)の順で高くなっている。

	ずっと住 みたい	できるなら 住みたい	市内の 別の地域に 住みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和5年度							
東地区	28.1%	35.7%	1.4%	21.4%	10.4%	1.4%	1.4%
中央地区	30.4%	40.2%	3.9%	12.7%	9.8%	2.0%	1.0%
南地区	27.0%	39.2%	2.4%	21.2%	7.5%	1.4%	1.4%
西地区	28.5%	35.4%	2.4%	20.7%	9.3%	0.8%	2.8%
東部地区A	32.3%	45.2%	0.0%	16.1%	3.2%	0.0%	3.2%
東部地区B	31.4%	37.1%	2.9%	11.4%	11.4%	2.9%	2.9%
南東部地区	21.6%	43.1%	5.9%	13.7%	11.8%	3.9%	0.0%
西部地区	23.5%	31.4%	7.8%	19.6%	11.8%	2.0%	3.9%
南部地区	21.7%	39.1%	0.0%	17.4%	17.4%	0.0%	4.3%
北部地区	57.2%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
浪岡地区	26.9%	41.0%	3.8%	20.5%	5.1%	1.3%	1.3%

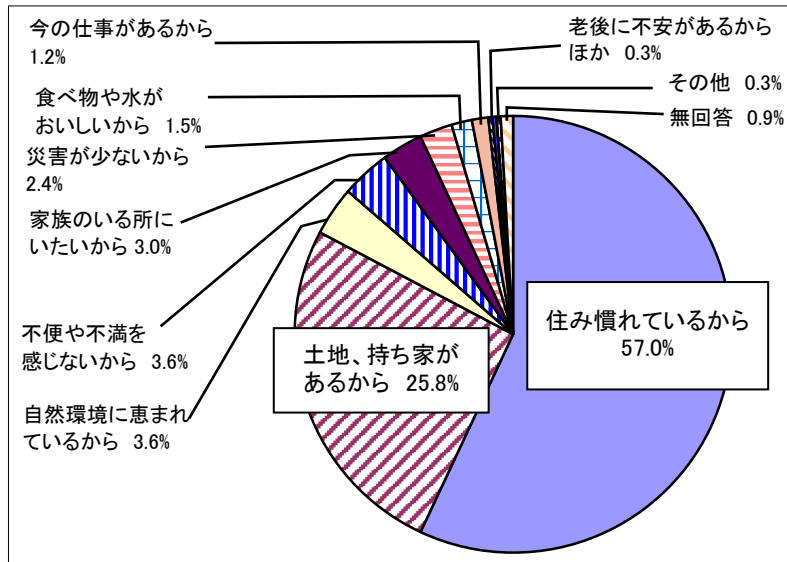
	ずっと住み 続けたい	できるなら 住み続けたい	市内の 別の地域に 住みたい	どちらとも いえない	できれば 市外に転居 したい	すぐにでも 市外に転居 したい	無回答
令和6年度							
東地区	32.4%	38.4%	2.3%	17.0%	8.2%	1.1%	0.6%
中央地区	24.5%	37.7%	2.8%	17.9%	13.2%	2.8%	0.9%
南地区	25.7%	43.1%	1.1%	18.6%	9.7%	1.5%	0.4%
西地区	25.7%	40.4%	2.4%	20.0%	8.2%	2.4%	0.8%
東部地区A	29.5%	40.9%	9.1%	15.9%	4.5%	0.0%	0.0%
東部地区B	24.3%	24.3%	5.4%	27.0%	16.2%	0.0%	2.7%
南東部地区	31.4%	37.3%	7.8%	11.8%	5.9%	2.0%	3.9%
西部地区	23.9%	35.8%	4.5%	22.4%	10.4%	3.0%	0.0%
南部地区	26.1%	47.8%	8.7%	13.0%	0.0%	0.0%	4.3%
北部地区	40.0%	20.0%	5.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%
浪岡地区	33.3%	36.8%	3.5%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%
令和7年度							
東地区	25.9%	36.9%	1.5%	25.6%	8.1%	0.9%	1.2%
中央地区	27.5%	37.6%	0.9%	20.2%	11.0%	1.8%	0.9%
南地区	28.9%	35.2%	0.0%	25.1%	8.4%	0.3%	2.1%
西地区	22.6%	45.1%	2.6%	16.9%	8.3%	2.6%	1.9%
東部地区A	26.5%	32.4%	2.9%	26.5%	8.8%	0.0%	2.9%
東部地区B	19.0%	42.9%	11.9%	11.9%	9.5%	2.4%	2.4%
南東部地区	15.1%	47.2%	7.5%	20.8%	7.5%	0.0%	1.9%
西部地区	22.2%	30.2%	9.5%	20.6%	14.3%	3.2%	0.0%
南部地区	36.4%	13.6%	0.0%	40.9%	9.1%	0.0%	0.0%
北部地区	26.3%	42.1%	10.5%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%
浪岡地区	20.0%	38.5%	3.1%	27.7%	4.6%	1.5%	4.6%

前年度との比較

- ◆ “今後も青森市に住みたい” と回答した人の割合は、東部地区Bで前年度（54.0%）より19.8ポイント増加したが、南部地区で前年度（82.6%）より32.6ポイント減少している。
- ◆ “青森市から転居したい” と回答した人の割合は、北部地区で前年度（15.0%）より9.7ポイント減少したが、南部地区で前年度（0.0%）より9.1ポイント増加している。

【問3－①】問3で答えた理由として、もっとも近いものを1つ選び○をつけてください。

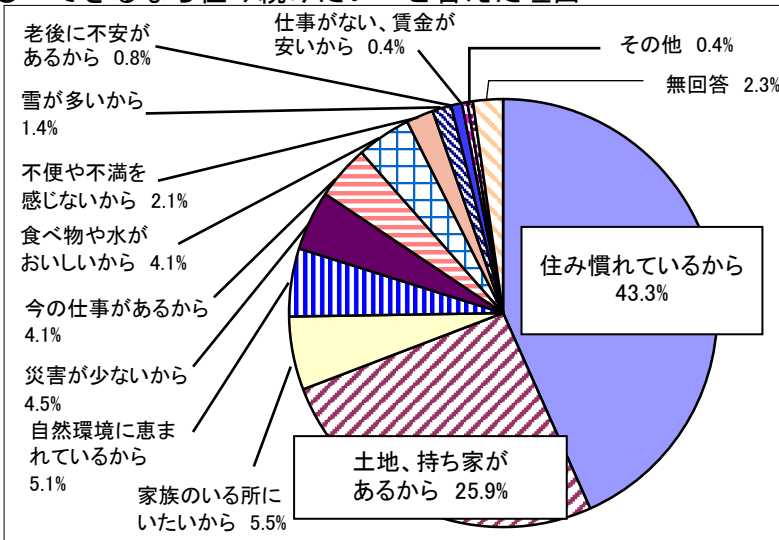
○ “ずっと住み続けたい” と答えた理由



“ずっと住み続けたい” と回答した人のうち57.0%の人が「住み慣れているから」という理由であった。

以下、「土地、持ち家があるから」(25.8%)、「自然環境に恵まれているから」「不便や不満を感じないから」(3.6%)と続き、上位3項目で全体の90%を超えている。

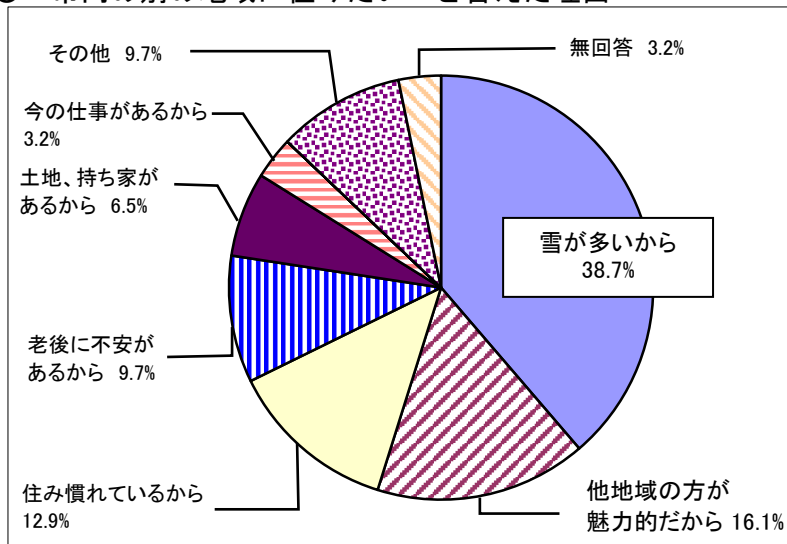
○ “できるなら住み続けたい” と答えた理由



“できるなら住み続けたい” と回答した人についても、“ずっと住み続けたい” と回答した人と同様に「住み慣れているから」(43.3%)という理由が最も多かった。

以下、「土地、持ち家があるから」(25.9%)、「家族のいる所にいたいから」(5.5%)と続き、上位3項目で全体の70%を超えている。

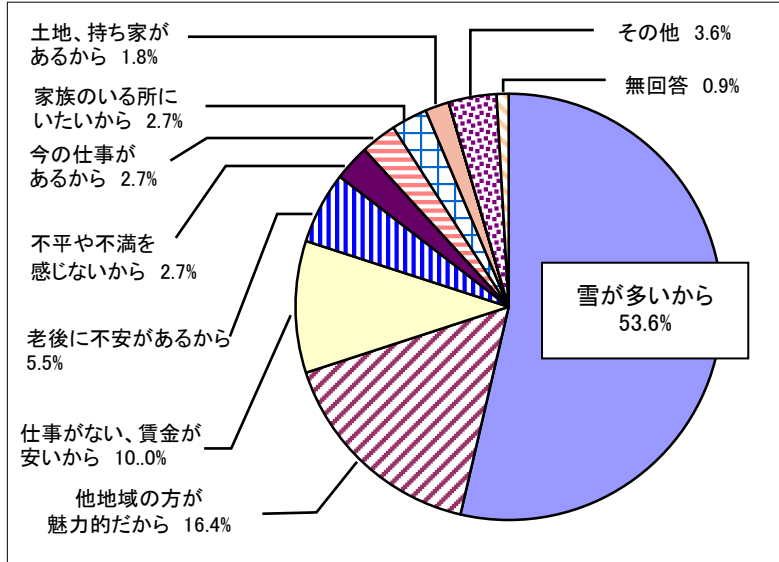
○ “市内の別の地域に住みたい” と答えた理由



“市内の別の地域に住みたい” と回答した人のうち、38.7%の人が「雪が多いから」という理由であった。

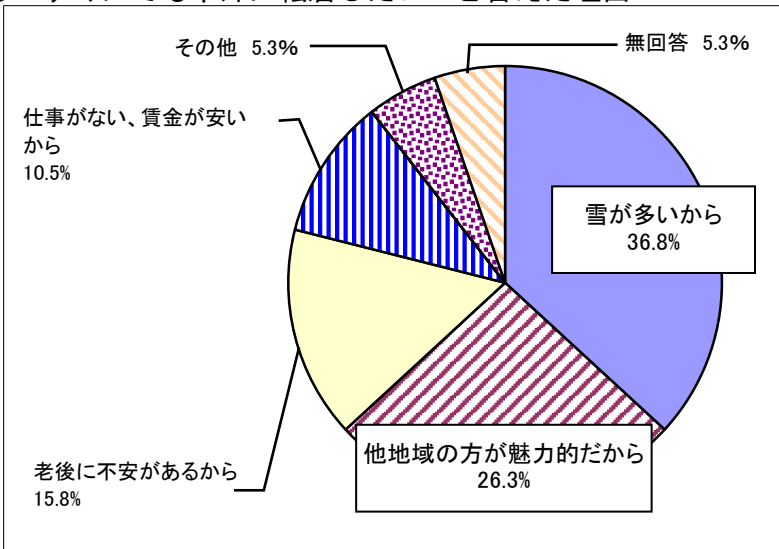
以下、「他地域の方が魅力的だから」(16.1%)、「住み慣れているから」(12.9%)、「老後に不安があるから」(9.7%)と続いている。

○ “できれば市外に転居したい” と答えた理由



“できれば市外に転居したい” と回答した人のうち、53.6%の人が「雪が多いから」との理由を挙げており、以下「他地域の方が魅力的だから」(16.4%)、「仕事がない、賃金が安いから」(10.0%)と続いている。

○ “すぐにでも市外に転居したい” と答えた理由

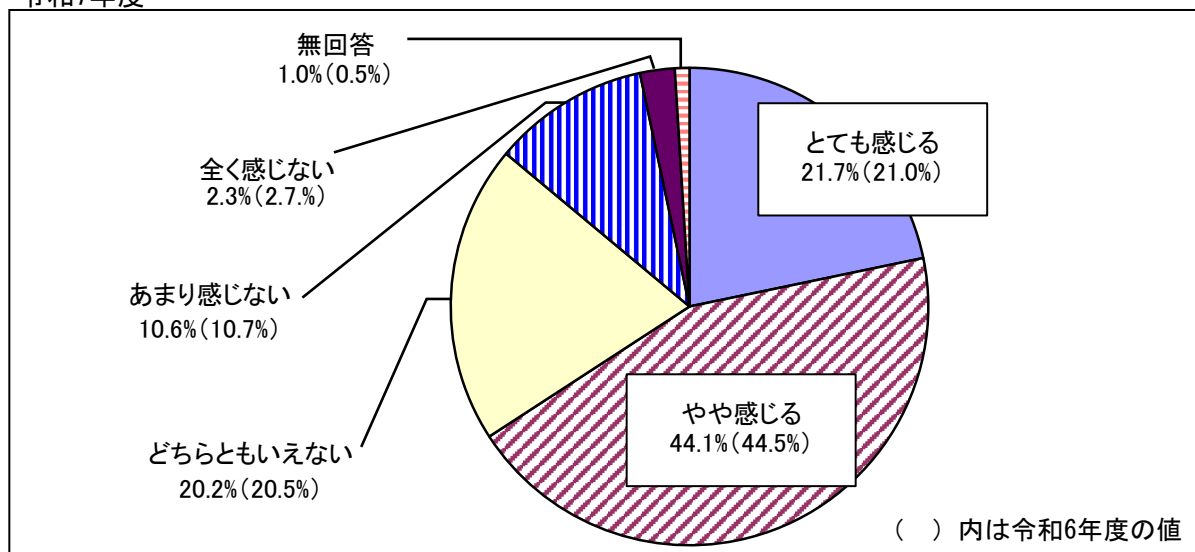


“すぐにでも市外に転居したい” と回答した人のうち、36.8%の人が「雪が多いから」との理由を挙げており、以下「他地域の方が魅力的だから」(26.3%)、「老後に不安があるから」(15.8%)と続いている。

2 青森市への誇りや愛着、青森市に住んでもらいたい

【問4】あなたは、青森市に誇りや愛着を感じますか。（○は1つ）

【全体】
令和7年度



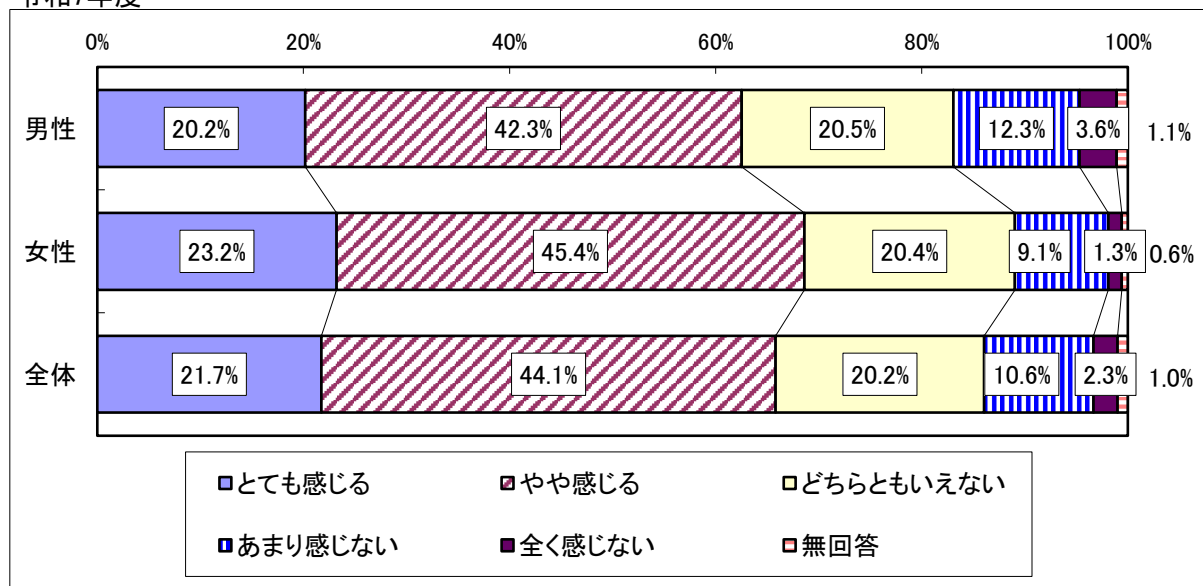
21.7%の人が「とても感じる」と回答しており、これに「やや感じる」（44.1%）を合わせた“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は65.8%となっている。
一方、「全く感じない」（2.3%）と「あまり感じない」（10.6%）を合わせた“誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は12.9%となっている。

	とても 感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり感じ ない	全く感じ ない	無回答
令和5年度						
回答数	257	561	270	156	36	12
構成比	19.9%	43.4%	20.9%	12.1%	2.8%	0.9%
令和6年度						
回答数	270	572	263	138	35	7
構成比	21.0%	44.5%	20.5%	10.7%	2.7%	0.5%
令和7年度						
回答数	287	582	267	140	31	13
構成比	21.7%	44.1%	20.2%	10.6%	2.3%	1.0%

前年度との比較

- ◆ “誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、前年度(65.5%)より0.3ポイント増加している。
- ◆ “誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、前年度(13.4%)より0.5ポイント減少している。

【性別】
令和7年度



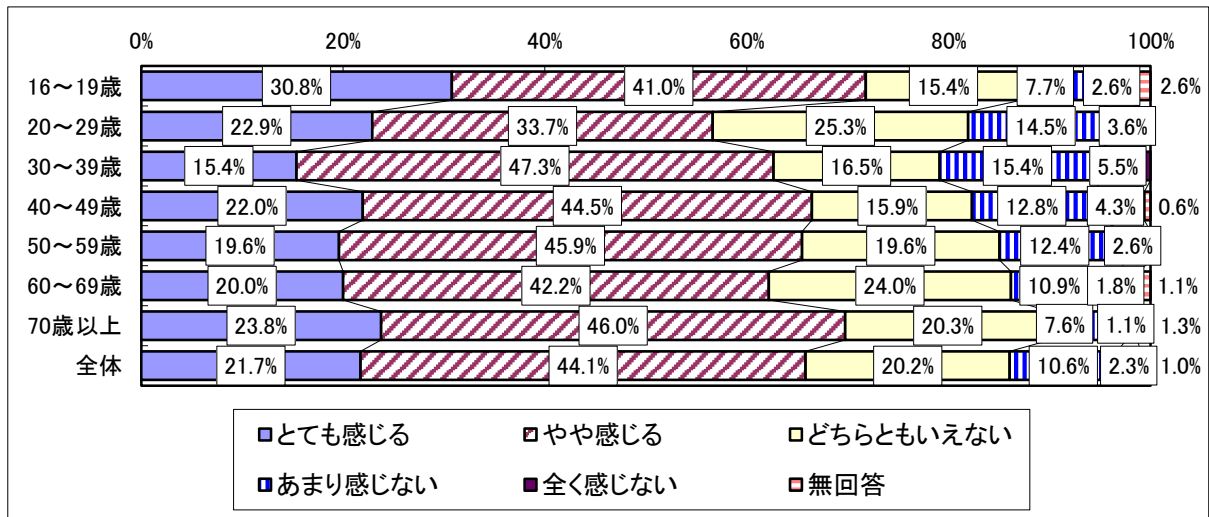
性別では、「とても感じる」と「やや感じる」の回答を合わせた“誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、男女ともに60%を超えており、女性（68.6%）が男性（62.5%）を6.1ポイント上回っている。

	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和5年度						
男性	20.6%	43.2%	20.5%	11.2%	4.0%	0.6%
女性	19.5%	43.1%	22.3%	12.8%	1.6%	0.7%
令和6年度						
男性	21.0%	42.8%	20.3%	12.4%	3.1%	0.4%
女性	20.2%	46.3%	20.8%	9.7%	2.3%	0.7%
令和7年度						
男性	20.2%	42.3%	20.5%	12.3%	3.6%	1.1%
女性	23.2%	45.4%	20.4%	9.1%	1.3%	0.6%

前年度との比較

- ◆ “誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、男性で前年度（63.8%）より1.3ポイント減少、女性で前年度（66.5%）より2.1ポイント増加している。
- ◆ “誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、男性で前年度（15.5%）より0.4ポイント増加、女性で前年度（12.0%）より1.6ポイント減少している。

【年齢層別】
令和7年度



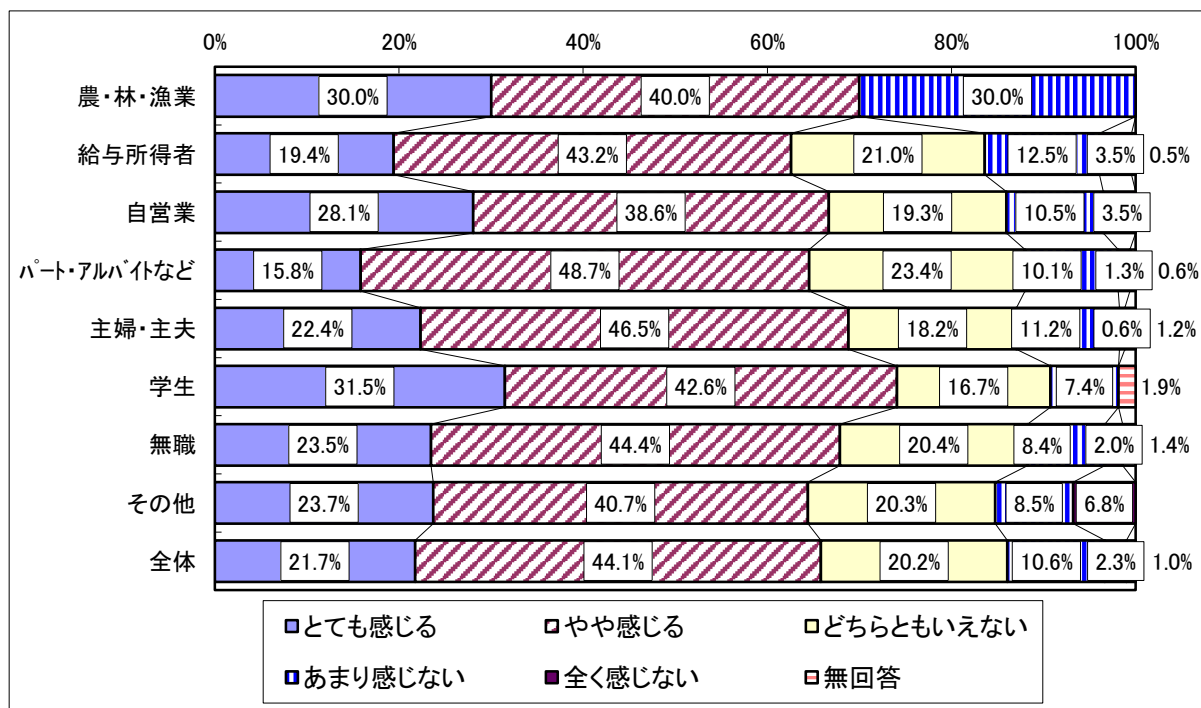
年齢層別では、「とても感じる」と答えた人の割合は、16～19歳(30.8%)が最も高く、次いで70歳以上(23.8%)となっている。また、“誇りや愛着を感じる”と答えた人の割合は、16～19歳(71.8%)が最も高く、次いで70歳以上(69.8%)となっている。

	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和5年度						
16～19歳	16.2%	32.4%	13.5%	27.0%	10.8%	0.0%
20～29歳	17.6%	39.2%	16.2%	16.2%	9.5%	1.4%
30～39歳	12.0%	46.0%	19.0%	15.0%	8.0%	0.0%
40～49歳	13.6%	49.4%	24.4%	10.2%	2.3%	0.0%
50～59歳	20.7%	36.8%	23.6%	15.5%	2.3%	1.1%
60～69歳	16.0%	48.4%	21.1%	13.1%	1.5%	0.0%
70歳以上	27.3%	42.4%	20.7%	8.0%	0.9%	0.7%
令和6年度						
16～19歳	21.2%	48.5%	15.2%	12.1%	3.0%	0.0%
20～29歳	17.4%	46.4%	14.5%	13.0%	7.2%	1.4%
30～39歳	15.7%	39.8%	22.2%	17.6%	4.6%	0.0%
40～49歳	19.0%	40.5%	26.1%	10.5%	3.9%	0.0%
50～59歳	17.6%	50.5%	18.7%	10.4%	2.7%	0.0%
60～69歳	18.1%	43.6%	24.4%	11.1%	2.1%	0.7%
70歳以上	27.0%	44.2%	17.7%	8.6%	1.6%	0.9%
令和7年度						
16～19歳	30.8%	41.0%	15.4%	7.7%	2.6%	2.6%
20～29歳	22.9%	33.7%	25.3%	14.5%	3.6%	0.0%
30～39歳	15.4%	47.3%	16.5%	15.4%	5.5%	0.0%
40～49歳	22.0%	44.5%	15.9%	12.8%	4.3%	0.6%
50～59歳	19.6%	45.9%	19.6%	12.4%	2.6%	0.0%
60～69歳	20.0%	42.2%	24.0%	10.9%	1.8%	1.1%
70歳以上	23.8%	46.0%	20.3%	7.6%	1.1%	1.3%

前年度との比較

- ◆ “誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、30～39歳の年齢層で前年度（55.5%）より7.2ポイント増加したが、20～29歳の年齢層で前年度（63.8%）より7.2ポイント減少している。
- ◆ “誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（15.1%）より4.8ポイント減少したが、40～49歳の年齢層で前年度（14.4%）より2.7ポイント増加している。

【職業別】
令和7年度



職業別では、「とても感じる」と回答した人の割合は、学生（31.5%）が最も高く、次いで農・林・漁業（30.0%）となっている。また、「誇りや愛着を感じる」と回答した人の割合は、学生（74.1%）が最も高く、次いで農・林・漁業（70.0%）となっている。

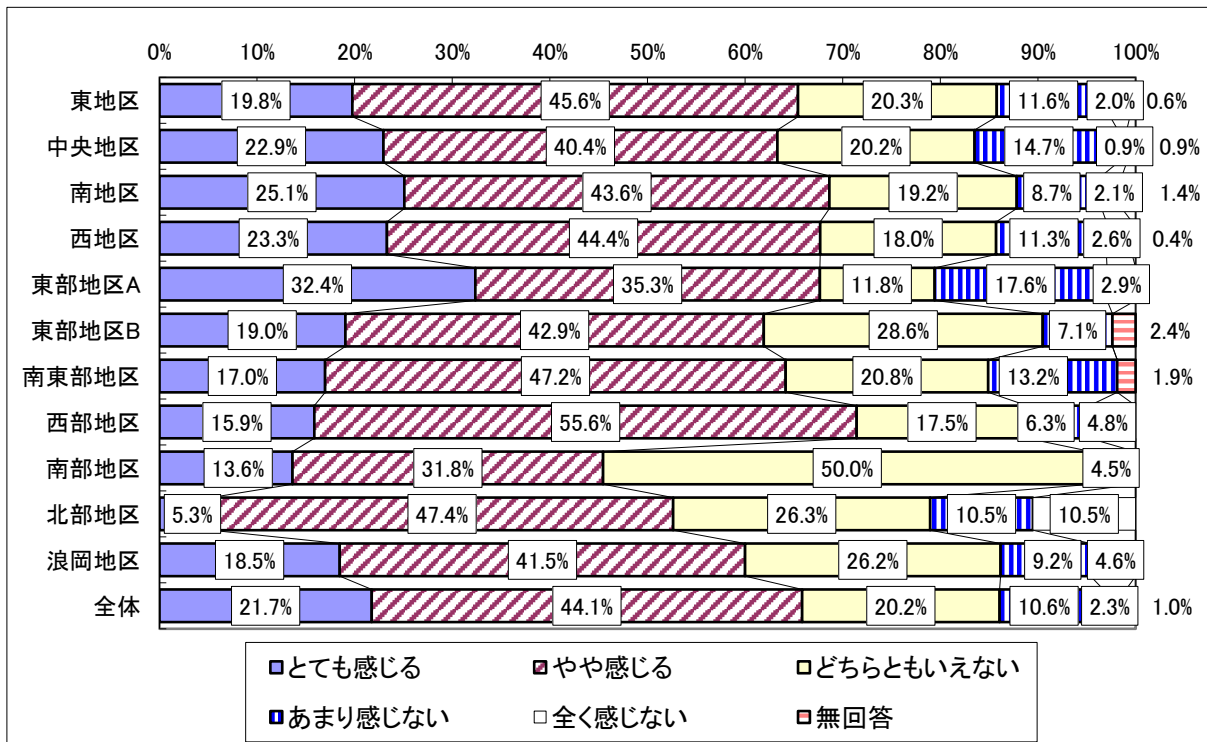
	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和5年度						
農・林・漁業	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	17.4%	44.3%	20.6%	12.0%	5.5%	0.3%
自営業	21.2%	51.5%	9.1%	15.2%	3.0%	0.0%
パート・アルバイトなど	11.2%	46.7%	27.0%	12.5%	2.0%	0.7%
主婦・主夫	22.2%	45.9%	18.9%	12.4%	0.0%	0.5%
学生	20.5%	29.5%	13.6%	27.3%	9.1%	0.0%
無職	24.9%	41.4%	21.7%	10.0%	1.4%	0.6%
その他	19.4%	41.9%	29.0%	8.1%	0.0%	1.6%
令和6年度						
農・林・漁業	25.0%	16.7%	33.3%	8.3%	16.7%	0.0%
給与所得者	18.9%	47.1%	19.2%	12.1%	2.1%	0.5%
自営業	24.7%	43.8%	15.1%	9.6%	6.8%	0.0%
パート・アルバイトなど	19.3%	40.9%	24.6%	13.5%	1.8%	0.0%
主婦・主夫	21.6%	46.9%	19.1%	8.6%	3.1%	0.6%
学生	25.0%	47.5%	10.0%	12.5%	5.0%	0.0%
無職	21.1%	45.0%	22.2%	8.7%	1.9%	1.1%
その他	28.0%	34.0%	24.0%	10.0%	4.0%	0.0%

	とても 感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり感じ ない	全く感じな い	無回答
令和7年度						
農・林・漁業	30.0%	40.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	19.4%	43.2%	21.0%	12.5%	3.5%	0.5%
自営業	28.1%	38.6%	19.3%	10.5%	3.5%	0.0%
パート・アルバイトなど	15.8%	48.7%	23.4%	10.1%	1.3%	0.6%
主婦・主夫	22.4%	46.5%	18.2%	11.2%	0.6%	1.2%
学生	31.5%	42.6%	16.7%	7.4%	0.0%	1.9%
無職	23.5%	44.4%	20.4%	8.4%	2.0%	1.4%
その他	23.7%	40.7%	20.3%	8.5%	6.8%	0.0%

前年度との比較

- ◆ “誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、農・林・漁業の職業区分で前年度（41.7%）より28.3ポイント増加したが、給与所得者の職業区分で前年度（66.0%）より3.4ポイント減少している。
- ◆ “誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、学生の職業区分で前年度（17.5%）より10.1ポイント減少したが、農・林・漁業の職業区分で前年度（25.0%）より5.0ポイント増加している。

【居住地区別】
令和7年度



居住地区別では、「とても感じる」と答えた人の割合は、東部地区A（32.4%）が最も高く、次いで南地区（25.1%）となっている。また、「誇りや愛着を感じる」と答えた人の割合は、西部地区（71.5%）が最も高く、次いで南地区（68.7%）となっている。

	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
令和5年度						
東地区	21.7%	44.6%	19.4%	10.1%	3.8%	0.3%
中央地区	27.5%	39.2%	20.6%	10.8%	2.0%	0.0%
南地区	18.8%	43.0%	23.2%	12.3%	1.4%	1.4%
西地区	20.3%	45.1%	18.3%	12.2%	2.8%	1.2%
東部地区A	19.4%	48.4%	29.0%	3.2%	0.0%	0.0%
東部地区B	22.9%	40.0%	25.7%	11.4%	0.0%	0.0%
南東部地区	13.7%	37.3%	21.6%	21.6%	5.9%	0.0%
西部地区	23.5%	45.1%	17.6%	11.8%	2.0%	0.0%
南部地区	8.7%	56.5%	21.7%	13.0%	0.0%	0.0%
北部地区	21.4%	57.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%
浪岡地区	10.3%	41.0%	25.6%	16.7%	6.4%	0.0%
令和6年度						
東地区	22.7%	42.9%	21.6%	9.4%	2.8%	0.6%
中央地区	19.8%	42.5%	16.0%	16.0%	5.7%	0.0%
南地区	17.8%	50.6%	21.2%	8.9%	0.7%	0.7%
西地区	21.6%	43.3%	18.0%	12.7%	4.1%	0.4%
東部地区A	20.5%	38.6%	22.7%	13.6%	4.5%	0.0%
東部地区B	24.3%	43.2%	21.6%	8.1%	0.0%	2.7%
南東部地区	31.4%	45.1%	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%
西部地区	14.9%	44.8%	26.9%	11.9%	1.5%	0.0%
南部地区	21.7%	26.1%	34.8%	17.4%	0.0%	0.0%
北部地区	15.0%	40.0%	25.0%	15.0%	5.0%	0.0%
浪岡地区	17.5%	50.9%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%

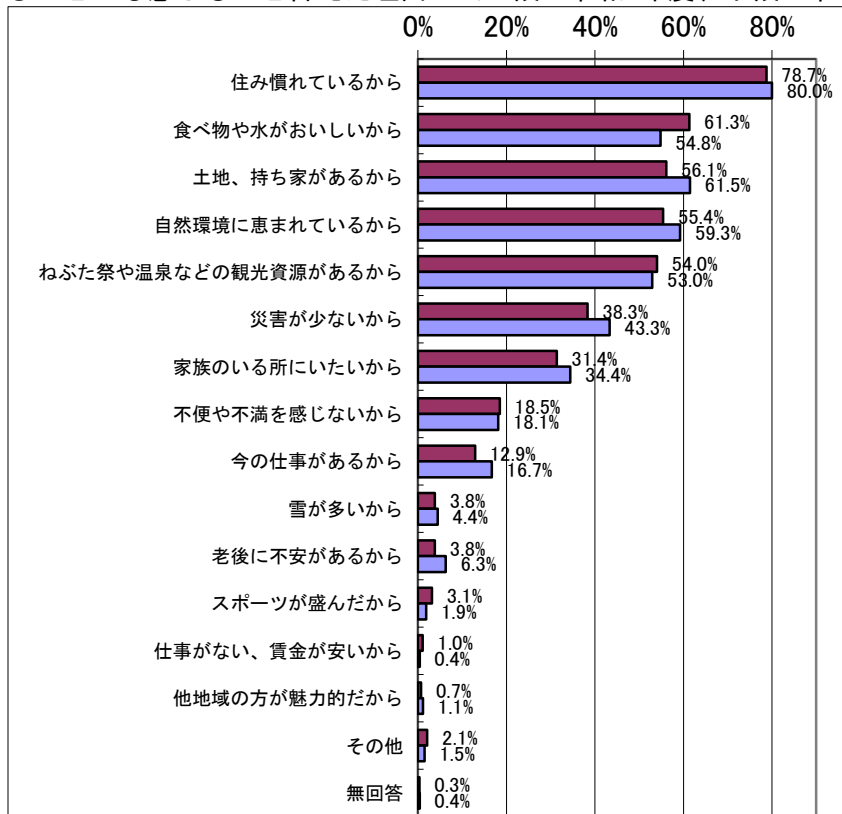
	とても 感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり感じ ない	全く感じな い	無回答
令和7年度						
東地区	19.8%	45.6%	20.3%	11.6%	2.0%	0.6%
中央地区	22.9%	40.4%	20.2%	14.7%	0.9%	0.9%
南地区	25.1%	43.6%	19.2%	8.7%	2.1%	1.4%
西地区	23.3%	44.4%	18.0%	11.3%	2.6%	0.4%
東部地区A	32.4%	35.3%	11.8%	17.6%	2.9%	0.0%
東部地区B	19.0%	42.9%	28.6%	7.1%	0.0%	2.4%
南東部地区	17.0%	47.2%	20.8%	13.2%	0.0%	1.9%
西部地区	15.9%	55.6%	17.5%	6.3%	4.8%	0.0%
南部地区	13.6%	31.8%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%
北部地区	5.3%	47.4%	26.3%	10.5%	10.5%	0.0%
浪岡地区	18.5%	41.5%	26.2%	9.2%	4.6%	0.0%

前年度との比較

- ◆ “誇りや愛着を感じる”と回答した人の割合は、西部地区で前年度（59.7%）より11.8ポイント増加したが、南東部地区で前年度（76.5%）より12.3ポイント減少している。
- ◆ “誇りや愛着を感じない”と回答した人の割合は、南部地区で前年度（17.4%）より12.9ポイント減少したが、浪岡地区で前年度（10.5%）より3.3ポイント増加している。

【問4－①】問4で答えた理由として該当するものをすべて選び○をつけてください。

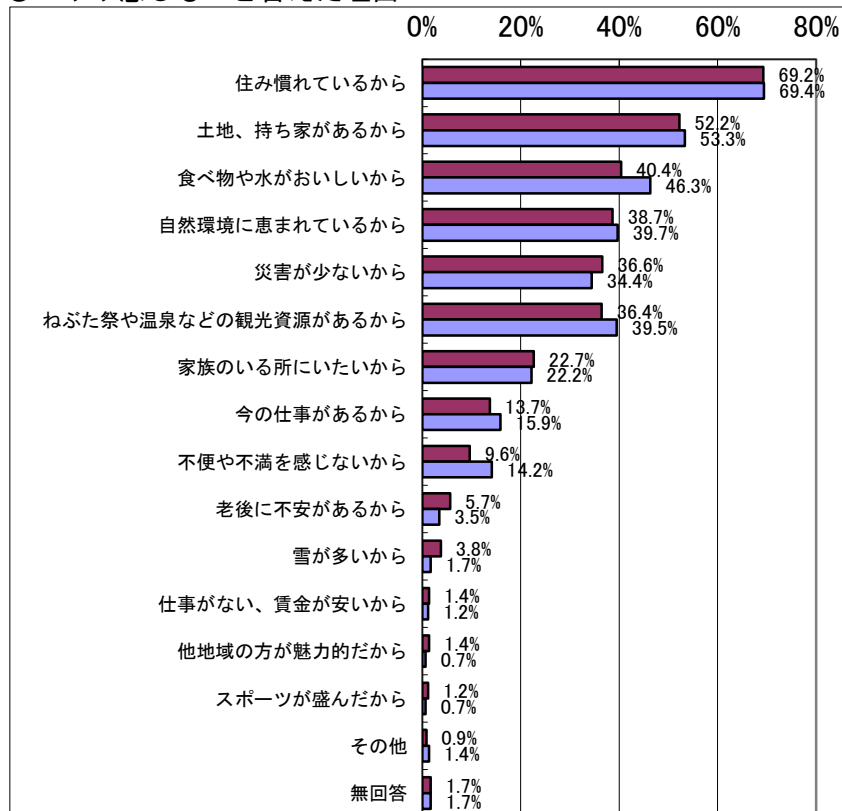
○ “とても感じる”と答えた理由 <上段：令和7年度、下段：令和6年度>



“とても感じる”と回答した理由として、最も割合が高いのは「住み慣れているから」(78.7%)であった。

以下、「食べ物や水がおいしいから」(61.3%)、「土地、持ち家があるから」(56.1%)、「自然環境に恵まれているから」(55.4%)と続いている。

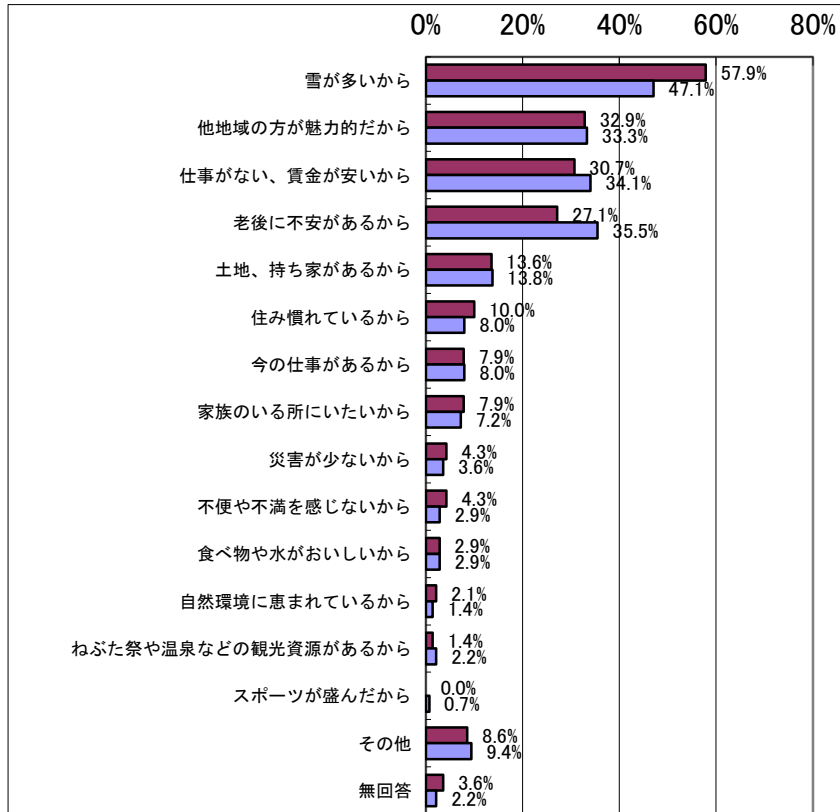
○ “やや感じる”と答えた理由



“やや感じる”と回答した理由として、最も割合が高いのは「住み慣れているから」(69.2%)であった。

以下、「土地、持ち家があるから」(52.2%)、「食べ物や水がおいしいから」(40.4%)、「自然環境に恵まれているから」(38.7%)と続いている。

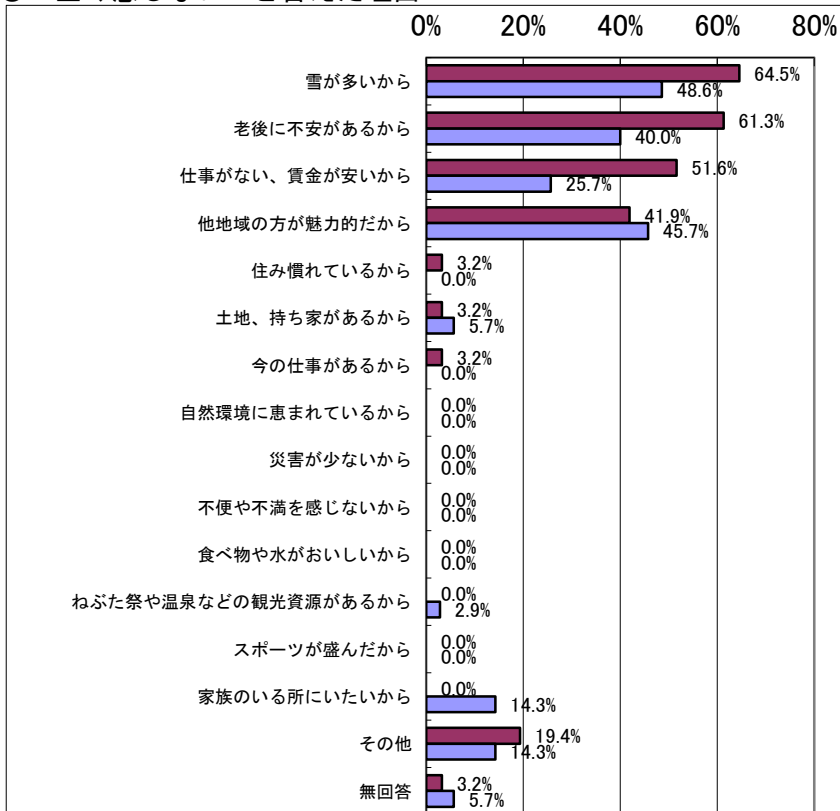
○ “あまり感じない” と答えた理由



“あまり感じない” と回答した理由として、最も割合が高いのは「雪が多いから」(57.9%)であった。

以下、「他地域の方が魅力的だから」(32.9%)、「仕事がない、賃金が安いから」(30.7%)、「老後に不安があるから」(27.1%)と続いている。

○ “全く感じない” と答えた理由

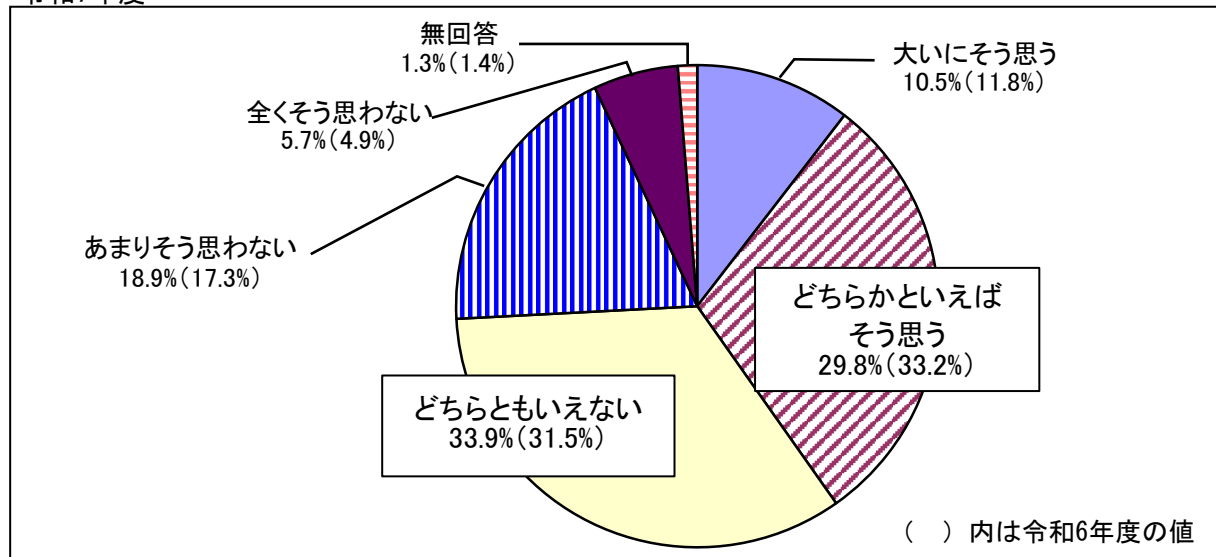


“全く感じない” と回答した理由として、最も割合が高いのは「雪が多いから」(64.5%)であった。

以下、「老後に不安があるから」(61.3%)、「仕事がない、賃金が安いから」(51.6%)、「他地域の方が魅力的だから」(41.9%)と続いている。

【問5】あなたは、知人や家族から「青森市に住みたい」または「戻りたい」と相談されたら、現在の青森市へ呼び込みたいと思いますか。（〇は1つ）

【全体】
令和7年度



10.5%の人が「大いにそう思う」と回答しており、これに「どちらかといえばそう思う」(29.8%)を合わせた“青森市に住んでももらいたいと思う”と回答した人の割合は40.3%となっている。

一方、「全くそう思わない」(5.7%)と「あまりそう思わない」(18.9%)を合わせた“青森市に住んでももらいたくないと思う”と回答した人の割合は24.6%となっている。

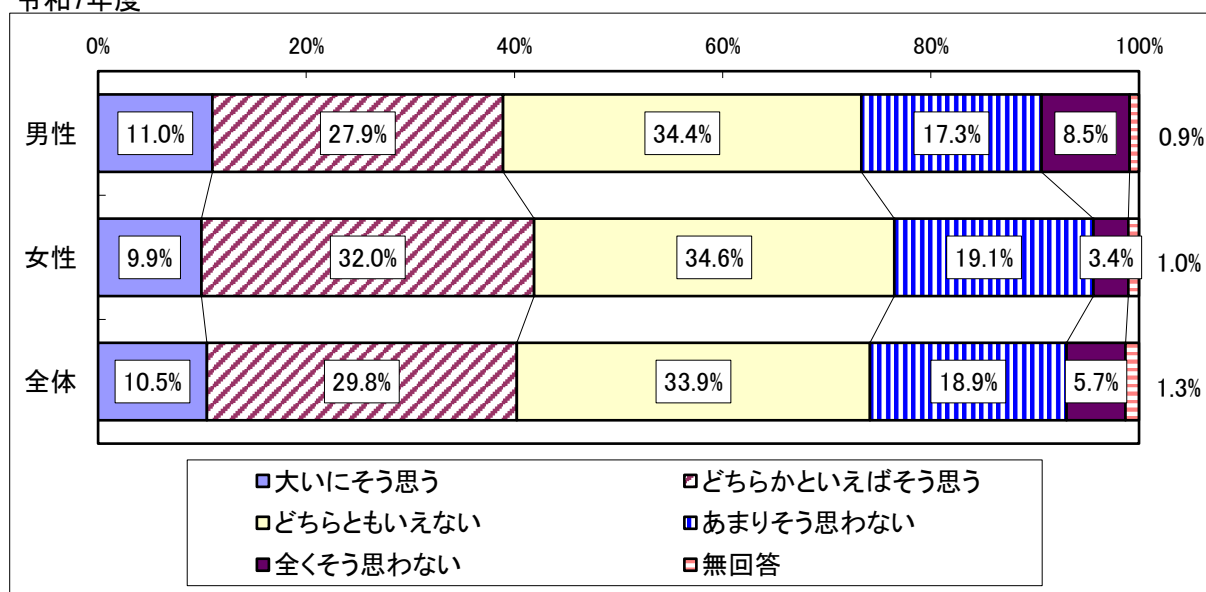
	大いに そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらとも いえ ない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	無 回 答
令和5年度						
回答数	126	422	422	245	58	19
構成比	9.8%	32.7%	32.7%	19.0%	4.5%	1.5%
令和6年度						
回答数	151	426	405	222	63	18
構成比	11.8%	33.2%	31.5%	17.3%	4.9%	1.4%
令和7年度						
回答数	138	393	448	249	75	17
構成比	10.5%	29.8%	33.9%	18.9%	5.7%	1.3%

前年度との比較

- ◆ “青森市に住んでももらいたいと思う”と回答した人の割合は、前年度(45.0%)より4.7ポイント減少している。
- ◆ “青森市に住んでももらいたくないと思う”と回答した人の割合は、前年度(22.2%)より2.4ポイント増加している。

【性別】

令和7年度



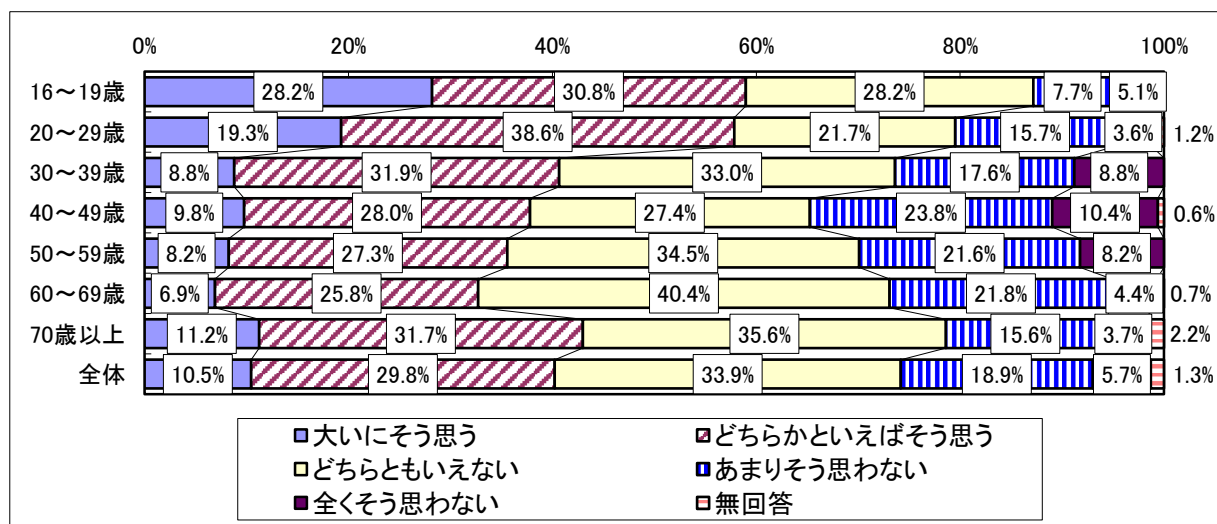
性別では、「大いにそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の回答を合わせた「青森市に住んでもらいたいと思う」と回答した人の割合は、女性で40%を超えており、女性（41.9%）が男性（38.9%）を3.0ポイント上回っている。

	大いに そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答
令和5年度						
男性	9.7%	34.3%	31.6%	18.4%	4.4%	1.7%
女性	10.1%	31.2%	33.1%	20.1%	4.5%	0.9%
令和6年度						
男性	11.7%	33.1%	30.0%	19.3%	5.0%	1.0%
女性	11.2%	33.7%	32.5%	16.3%	4.7%	1.6%
令和7年度						
男性	11.0%	27.9%	34.4%	17.3%	8.5%	0.9%
女性	9.9%	32.0%	34.6%	19.1%	3.4%	1.0%

前年度との比較

- ◆ “青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、男性で前年度（44.8%）より5.9ポイント減少、女性で前年度（44.9%）より3.0ポイント減少している。
- ◆ “青森市に住んでもらいたくないと思わない”と回答した人の割合は、男性で前年度（24.3%）より1.5ポイント増加、女性で前年度（21.0%）より1.5ポイント増加している。

【年齢層別】
令和7年度



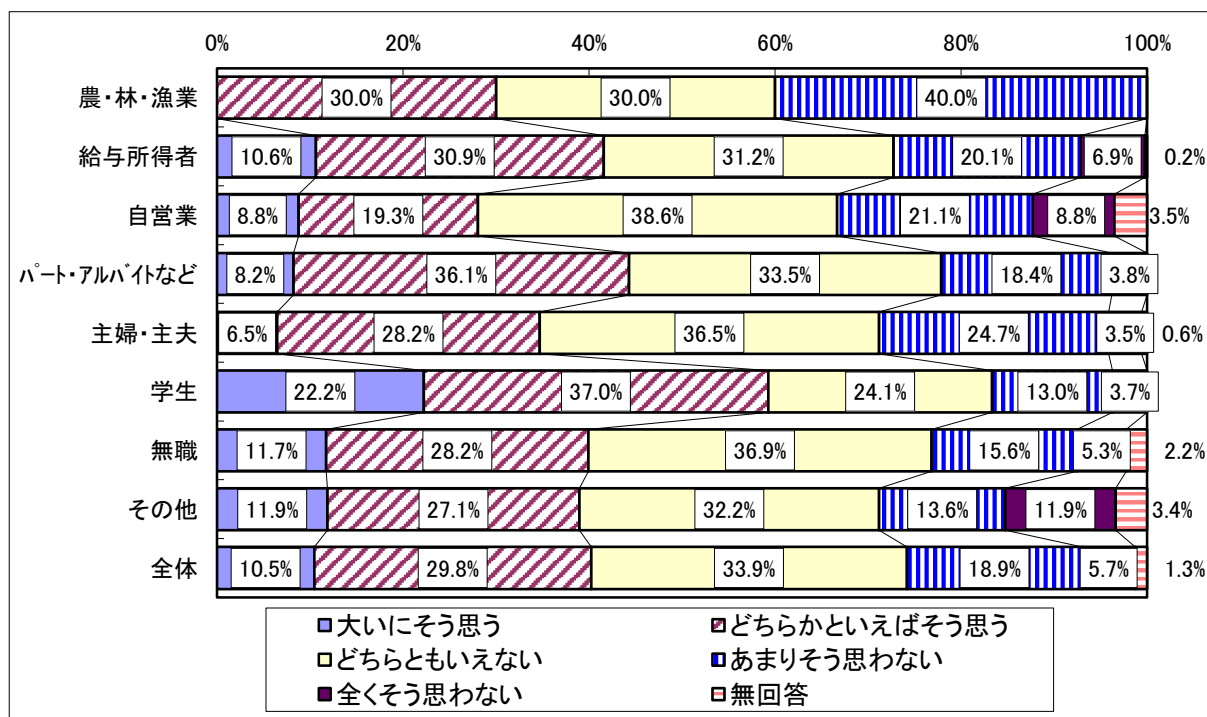
年齢層別では、「大いにそう思う」と答えた人の割合は、16～19歳(28.2%)が最も高く、次いで20～29歳(19.3%)となっている。また、“青森市に住んでもらいたい”と答えた人の割合は、16～19歳(59.0%)が最も高く、次いで20～29歳(57.9%)となっている。

	大いに そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらとも いえ ない	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	無 回 答
令和5年度						
16～19歳	18.9%	24.3%	24.3%	21.6%	10.8%	0.0%
20～29歳	13.5%	27.0%	27.0%	27.0%	4.1%	1.4%
30～39歳	11.0%	28.0%	29.0%	24.0%	6.0%	2.0%
40～49歳	8.0%	34.7%	34.1%	17.6%	5.7%	0.0%
50～59歳	9.8%	27.6%	33.3%	22.4%	5.7%	1.1%
60～69歳	8.0%	34.5%	32.4%	20.4%	4.4%	0.4%
70歳以上	10.0%	35.5%	35.3%	14.8%	2.5%	1.8%
令和6年度						
16～19歳	12.1%	33.3%	21.2%	27.3%	6.1%	0.0%
20～29歳	18.8%	44.9%	20.3%	11.6%	4.3%	0.0%
30～39歳	10.2%	40.7%	25.9%	13.9%	9.3%	0.0%
40～49歳	17.0%	35.9%	25.5%	13.7%	7.2%	0.7%
50～59歳	7.7%	34.1%	31.3%	20.3%	6.0%	0.5%
60～69歳	9.4%	26.5%	39.0%	19.9%	4.5%	0.7%
70歳以上	12.7%	32.0%	32.7%	16.6%	2.9%	3.2%
令和7年度						
16～19歳	28.2%	30.8%	28.2%	7.7%	5.1%	0.0%
20～29歳	19.3%	38.6%	21.7%	15.7%	3.6%	1.2%
30～39歳	8.8%	31.9%	33.0%	17.6%	8.8%	0.0%
40～49歳	9.8%	28.0%	27.4%	23.8%	10.4%	0.6%
50～59歳	8.2%	27.3%	34.5%	21.6%	8.2%	0.0%
60～69歳	6.9%	25.8%	40.4%	21.8%	4.4%	0.7%
70歳以上	11.2%	31.7%	35.6%	15.6%	3.7%	2.2%

前年度との比較

- ◆ “青森市に住んでもらいたいと思う” と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（45.4%）より13.6ポイント増加したが、40歳～49歳の年齢層で前年度（52.9%）より15.1ポイント減少している。
- ◆ “青森市に住んでもらいたくない” と回答した人の割合は、16～19歳の年齢層で前年度（33.4%）より20.6ポイント減少したが、40～49歳の年齢層で前年度（20.9%）より13.3ポイント増加している。

【職業別】
令和7年度



職業別では、「大いにそう思う」と回答した人の割合は、学生（22.2%）が最も高く、次いでその他（11.9%）となっている。また、“青森市に住んでもらいたい”と回答した人の割合は、学生（59.2%）が最も高く、次いでパート・アルバイトなど（44.3%）となっている。

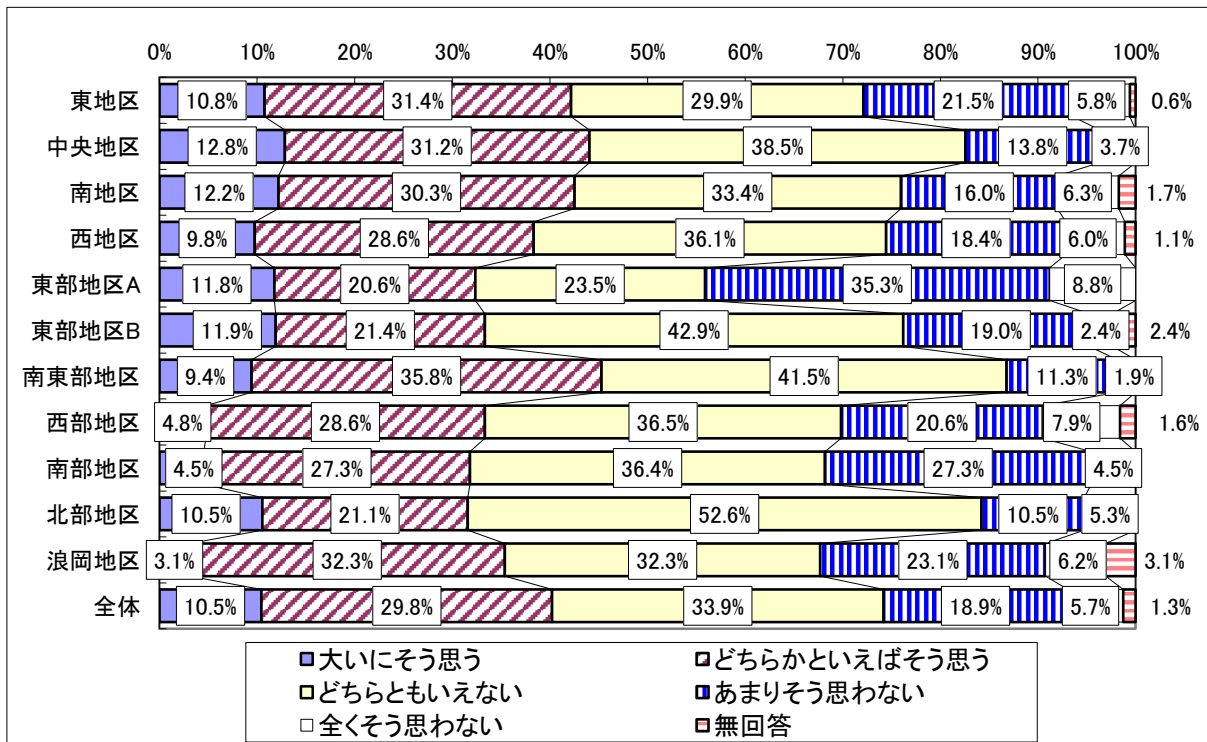
	大いに そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答
令和5年度						
農・林・漁業	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
給与所得者	9.9%	32.0%	33.1%	18.2%	6.0%	0.8%
自営業	12.1%	34.8%	22.7%	25.8%	4.5%	0.0%
パート・アルバイトなど	7.2%	32.2%	32.9%	23.7%	3.3%	0.7%
主婦・主夫	9.7%	32.4%	33.5%	21.1%	2.7%	0.5%
学生	18.2%	25.0%	22.7%	20.5%	13.6%	0.0%
無職	9.4%	34.0%	33.7%	17.1%	3.1%	2.6%
その他	8.1%	35.5%	40.3%	14.5%	1.6%	0.0%
令和6年度						
農・林・漁業	8.3%	16.7%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%
給与所得者	12.6%	40.0%	25.8%	17.1%	4.2%	0.3%
自営業	16.4%	23.3%	32.9%	21.9%	5.5%	0.0%
パート・アルバイトなど	8.8%	32.2%	32.7%	17.5%	7.6%	1.2%
主婦・主夫	11.7%	34.0%	30.2%	17.9%	3.1%	3.1%
学生	15.0%	42.5%	20.0%	17.5%	5.0%	0.0%
無職	11.1%	30.4%	35.2%	16.3%	4.6%	2.4%
その他	12.0%	18.0%	46.0%	16.0%	6.0%	2.0%

	大いに そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答
令和7年度						
農・林・漁業	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%
給与所得者	10.6%	30.9%	31.2%	20.1%	6.9%	0.2%
自営業	8.8%	19.3%	38.6%	21.1%	8.8%	3.5%
パート・アルバイトなど	8.2%	36.1%	33.5%	18.4%	3.8%	0.0%
主婦・主夫	6.5%	28.2%	36.5%	24.7%	3.5%	0.6%
学生	22.2%	37.0%	24.1%	13.0%	3.7%	0.0%
無職	11.7%	28.2%	36.9%	15.6%	5.3%	2.2%
その他	11.9%	27.1%	32.2%	13.6%	11.9%	3.4%

前年度との比較

- ◆ “青森市に住んでもらいたいと思う” と回答した人の割合は、その他の職業区分で前年度（30.0%）より9.0ポイント増加したが、自営業の職業区分で前年度（39.7%）より11.6ポイント減少している。
- ◆ “青森市に住んでもらいたくない” と回答した人の割合は、学生の職業区分で前年度（22.5%）より5.8ポイント減少したが、農・林・漁業の職業区分で前年度（25.0%）より15.0ポイント増加している。

【居住地区別】
令和7年度



居住地区別では、「大いにそう思う」と答えた人の割合は、中央地区（12.8%）が最も高く、次いで南地区（12.2%）となっている。また、“青森市に住んでももらいたい”と答えた人の割合は、南東部地区（45.2%）が最も高く、次いで中央地区（44.0%）となっている。

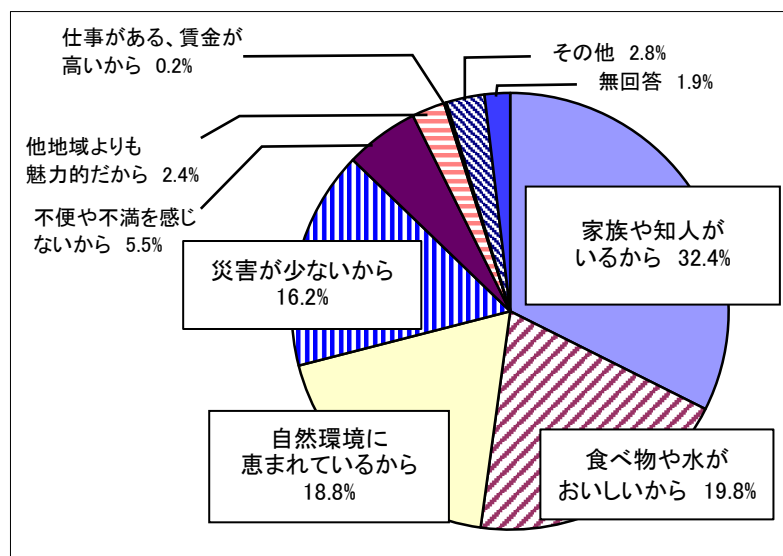
	大いに そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらとも いえ ない	あまりそう 思わ ない	全くそう 思わ ない	無回答
令和5年度						
東地区	11.6%	28.4%	33.0%	21.4%	4.9%	0.6%
中央地区	8.8%	33.3%	32.4%	21.6%	3.9%	0.0%
南地区	9.2%	35.5%	33.4%	17.4%	3.1%	1.4%
西地区	9.3%	35.8%	30.5%	17.9%	5.3%	1.2%
東部地区A	3.2%	32.3%	48.4%	9.7%	3.2%	3.2%
東部地区B	17.1%	40.0%	17.1%	20.0%	2.9%	2.9%
南東部地区	3.9%	37.3%	25.5%	23.5%	7.8%	2.0%
西部地区	5.9%	27.5%	39.2%	15.7%	9.8%	2.0%
南部地区	4.3%	39.1%	30.4%	17.4%	8.7%	0.0%
北部地区	21.4%	14.3%	42.9%	21.4%	0.0%	0.0%
浪岡地区	12.8%	26.9%	42.3%	17.9%	0.0%	0.0%
令和6年度						
東地区	14.8%	31.8%	29.5%	19.6%	3.4%	0.9%
中央地区	8.5%	36.8%	34.0%	14.2%	6.6%	0.0%
南地区	10.8%	31.6%	34.9%	17.8%	3.7%	1.1%
西地区	10.6%	32.7%	30.6%	17.1%	6.5%	2.4%
東部地区A	9.1%	36.4%	38.6%	9.1%	4.5%	2.3%
東部地区B	10.8%	29.7%	37.8%	13.5%	5.4%	2.7%
南東部地区	17.6%	43.1%	19.6%	13.7%	5.9%	0.0%
西部地区	6.0%	29.9%	35.8%	20.9%	4.5%	3.0%
南部地区	4.3%	34.8%	21.7%	26.1%	8.7%	4.3%
北部地区	15.0%	20.0%	35.0%	15.0%	15.0%	0.0%
浪岡地区	12.3%	42.1%	28.1%	12.3%	5.3%	0.0%

	大いに そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答
令和7年度						
東地区	10.8%	31.4%	29.9%	21.5%	5.8%	0.6%
中央地区	12.8%	31.2%	38.5%	13.8%	3.7%	0.0%
南地区	12.2%	30.3%	33.4%	16.0%	6.3%	1.7%
西地区	9.8%	28.6%	36.1%	18.4%	6.0%	1.1%
東部地区A	11.8%	20.6%	23.5%	35.3%	8.8%	0.0%
東部地区B	11.9%	21.4%	42.9%	19.0%	2.4%	2.4%
南東部地区	9.4%	35.8%	41.5%	11.3%	1.9%	0.0%
西部地区	4.8%	28.6%	36.5%	20.6%	7.9%	1.6%
南部地区	4.5%	27.3%	36.4%	27.3%	4.5%	0.0%
北部地区	10.5%	21.1%	52.6%	10.5%	5.3%	0.0%
浪岡地区	3.1%	32.3%	32.3%	23.1%	6.2%	3.1%

前年度との比較

- ◆ “青森市に住んでもらいたいと思う”と回答した人の割合は、南地区で前年度（42.4%）より0.1ポイント増加したが、浪岡地区で前年度（54.4%）より19.0ポイント減少している。
- ◆ “青森市に住んでもらいたくないと思わない”と回答した人の割合は、北部地区で前年度（30.0%）より14.2ポイント減少したが、東部地区Aで前年度（13.6%）より30.5ポイント増加している。

【問5－①】問5で“大いにそう思う”、“どちらかといえばそう思う”と答えた理由として、もっとも近いものを1つ選び○をつけてください。

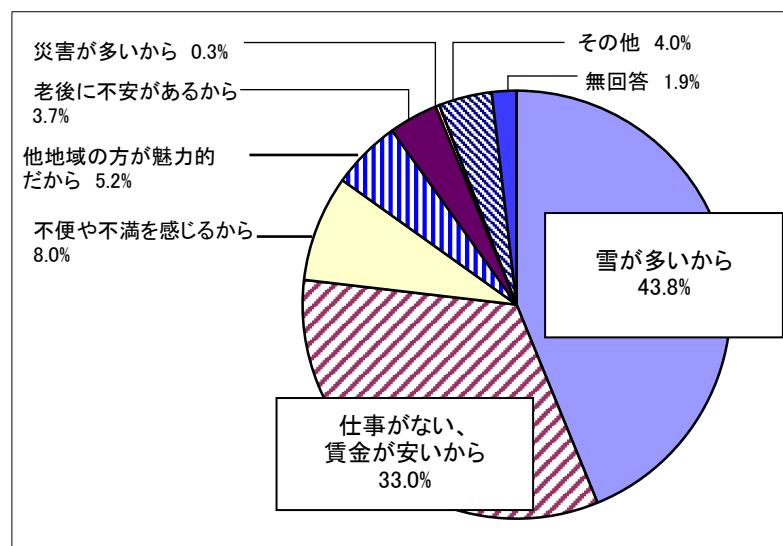


“大いにそう思う”、“どちらかといえばそう思う”と回答した人のうち32.4%の人が「家族や知人がいるから」という理由であった。

以下、「食べ物や水がおいしいから」(19.8%)、「自然環境に恵まれているから」

(18.8%)、「災害が少ないから」(16.2%)、などが続き、上位4項目で全体の85%を超えている。

【問5－②】問5で“あまりそう思わない”、“全くそう思わない”と答えた理由として、もっとも近いものを1つ選び○をつけてください。



“あまりそう思わない”、“全くそう思わない”と回答した人のうち43.8%の人が「雪が多いから」という理由であった。

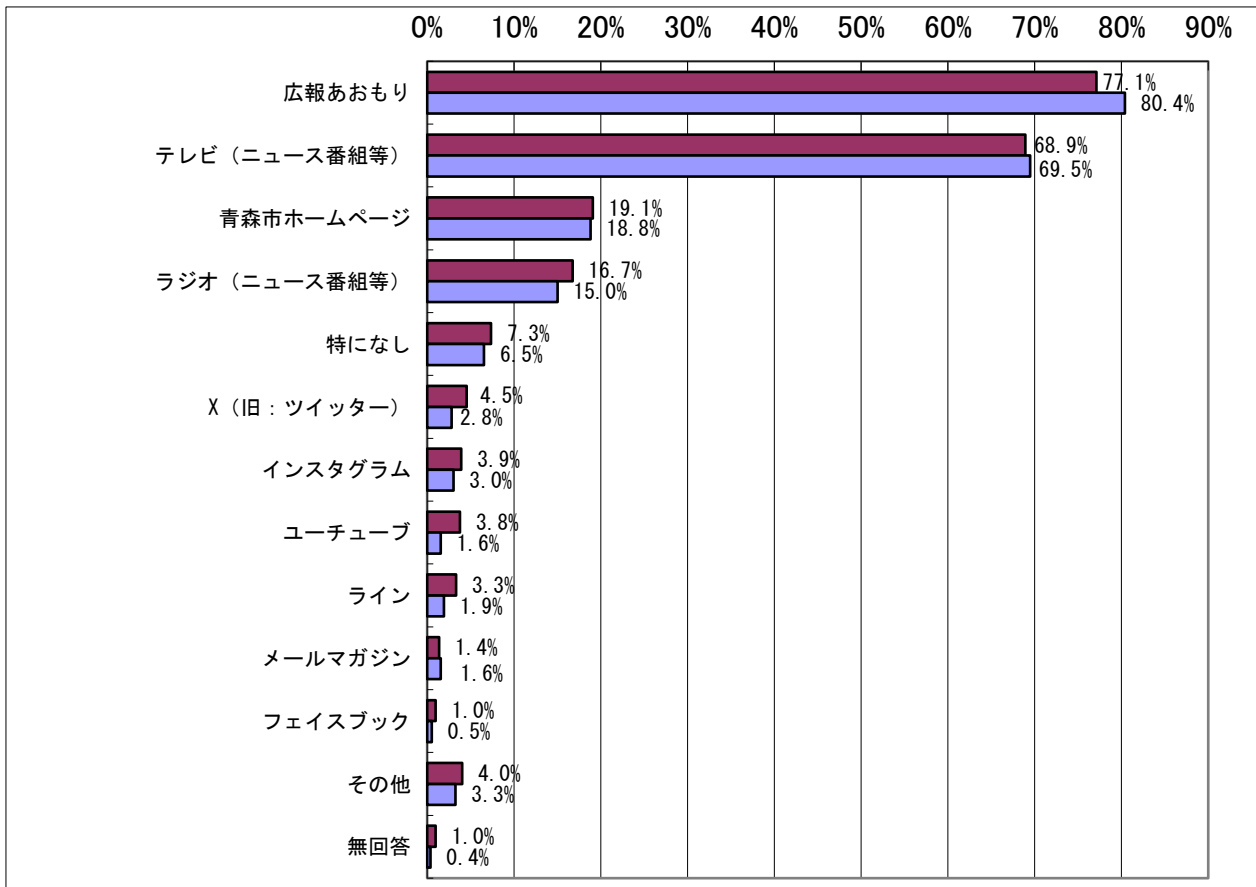
以下、「仕事がない、賃金が安いから」(33.0%)、「不便や不満を感じるから」(8.0%)、「他地域の方が魅力的だから」(5.2%)などが続き、上位4項目で全体の90%となっている。

3 市政情報の入手方法

【問6】あなたは、青森市の市政情報をどこから得ていますか。該当するものをすべて選び○をつけてください。

【全体】

＜上段：令和7年度、下段：令和6年度＞



青森市の市政情報をどこから得ているかという設問において、最も割合が高いのは「広報あおもり」(77.1%)であった。以下、「テレビ（ニュース番組等）」(68.9%)、「青森市ホームページ」(19.1%)、「ラジオ（ニュース番組等）」(16.7%)と続いている。

【性別】

令和7年度

(%)

No.	項 目	男性	女性
1	広報あおもり	① 70.5	① 81.3
2	青森市ホームページ	③ 23.4	③ 16.2
3	メールマガジン	1.1	1.8
4	インスタグラム	3.6	4.7
5	フェイスブック	0.7	1.2
6	X（旧：ツイッター）	5.6	3.9
7	ユーチューブ	4.7	3.2
8	ライン	2.9	4.1
9	テレビ（ニュース番組等）	② 63.1	② 72.6
10	ラジオ（ニュース番組等）	④ 16.4	④ 15.9
11	特になし	⑤ 10.1	⑤ 5.7
12	その他	5.6	2.9

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

男女ともに上位5項目は、同じ項目が選ばれている。最も割合が高いのは「広報あおもり」で、次いで「テレビ（ニュース番組等）」となっている。

【年齢層別】

令和7年度

(%)

No.	項 目	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1	広報あおもり	③ 17.9	① 41.0	① 56.0	① 68.9	① 70.6	① 89.5	① 91.4
2	青森市ホームページ	⑤ 12.8	④ 15.7	③ 29.7	③ 26.2	③ 22.2	③ 21.5	④ 12.5
3	メールマガジン	0.0	1.2	1.1	2.4	1.0	2.5	0.6
4	インスタグラム	10.3	12.0	12.1	7.9	5.2	1.5	0.0
5	フェイスブック	0.0	1.2	1.1	4.3	1.0	0.0	0.4
6	X（旧：ツイッター）	③ 17.9	⑤ 14.5	④ 17.6	6.7	3.1	1.8	0.4
7	ユーチューブ	⑤ 12.8	3.6	4.4	6.1	4.6	4.0	1.7
8	ライン	7.7	7.2	6.6	2.4	6.2	2.9	1.1
9	テレビ（ニュース番組等）	① 66.7	② 37.3	② 42.9	② 56.7	② 60.3	② 76.7	② 83.4
10	ラジオ（ニュース番組等）	5.1	4.8	8.8	⑤ 11.0	④ 9.8	④ 17.8	③ 25.5
11	特になし	② 25.6	③ 21.7	⑤ 15.4	④ 12.2	⑤ 7.7	3.3	2.2
12	その他	0.0	1.2	2.2	1.2	4.1	⑤ 4.7	⑤ 5.8

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の前の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

「広報あおもり」、「青森市ホームページ」、「テレビ（ニュース番組等）」が全ての年齢層において、上位5項目に入っている。

16～19歳の各年齢層では「テレビ（ニュース番組等）」が最も高く、16～19歳を除く各年齢層では「広報あおもり」が最も高くなっている。

【職業別】

令和7年度

(%)

No.	項 目	農・林・漁業	給与所得者	自営業	パート・アルバイトなど	主婦・主夫	学生	無職	その他
1	広報あおもり	② 50.0	① 68.6	② 66.7	① 84.2	① 91.8	③ 20.4	① 90.5	① 66.1
2	青森市ホームページ	④ 10.0	③ 25.9	③ 22.8	③ 19.0	④ 12.9	9.3	④ 15.1	③ 16.9
3	メールマガジン	0.0	1.4	5.3	0.6	1.8	0.0	1.1	1.7
4	インスタグラム	0.0	5.3	3.5	⑤ 6.3	2.9	⑤ 11.1	1.1	3.4
5	フェイスブック	0.0	1.8	0.0	0.6	0.0	0.0	0.3	5.1
6	X（旧：ツイッター）	0.0	7.2	1.8	5.1	0.6	④ 14.8	1.4	⑤ 8.5
7	ユーチューブ	0.0	4.4	0.0	5.7	2.9	9.3	2.8	3.4
8	ライン	0.0	4.4	3.5	3.2	4.1	7.4	1.1	5.1
9	テレビ（ニュース番組等）	① 60.0	② 55.9	① 71.9	② 74.1	② 82.9	① 61.1	② 79.6	② 50.8
10	ラジオ（ニュース番組等）	③ 20.0	④ 13.4	④ 12.3	④ 17.1	③ 20.6	3.7	③ 22.6	5.1
11	特になし	④ 10.0	⑤ 11.1	⑤ 7.0	5.7	1.2	② 25.9	2.5	④ 13.6
12	その他	④ 10.0	3.2	3.5	3.2	⑤ 4.1	0.0	⑤ 5.9	5.1

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

「広報あおもり」、「テレビ（ニュース番組等）」が全ての職業区分において、上位5項目に入っている。

農・林・漁業、自営業、学生の職業区分では「テレビ（ニュース番組等）」が最も高く、それ以外の職業区分では「広報あおもり」が最も高くなっている。

【居住地区別】

令和7年度

(%)

No.	項 目	東	中央	南	西	東部A	東部B	南東部	西部	南部	北部	浪岡
1	広報あおもり	① 75.9	① 74.3	① 79.8	① 77.1	① 79.4	② 81.0	① 73.6	① 73.0	① 86.4	① 73.7	① 78.5
2	青森市ホームページ	③ 17.2	③ 23.9	④ 17.1	③ 24.4	④ 20.6	③ 16.7	③ 15.1	③ 19.0	⑤ 4.5	④ 15.8	③ 16.9
3	メールマガジン	0.9	3.7	2.1	0.8	0.0	2.4	1.9	0.0	0.0	0.0	1.5
4	Instagram	3.5	5.5	4.9	4.1	2.9	2.4	5.7	1.6	0.0	0.0	4.6
5	フェイスブック	1.5	0.9	1.0	0.4	2.9	2.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
6	X（旧：ツイッター）	5.2	4.6	5.2	3.8	0.0	2.4	9.4	1.6	⑤ 4.5	⑤ 5.3	4.6
7	ユーチューブ	4.9	3.7	4.9	2.6	⑤ 8.8	2.4	3.8	1.6	0.0	0.0	1.5
8	ライン	3.2	⑤ 8.3	2.1	4.9	5.9	2.4	0.0	0.0	0.0	⑤ 5.3	1.5
9	テレビ （ニュース番組等）	② 68.3	② 72.5	② 70.0	② 65.4	② 73.5	① 83.3	② 58.5	② 68.3	② 72.7	① 73.7	② 72.3
10	ラジオ （ニュース番組等）	④ 12.8	④ 21.1	③ 18.1	④ 17.7	③ 26.5	③ 16.7	④ 13.2	④ 17.5	③ 27.3	③ 21.1	④ 13.8
11	特になし	⑤ 7.6	6.4	⑤ 7.3	⑤ 6.0	⑤ 8.8	2.4	④ 13.2	⑤ 9.5	④ 9.1	⑤ 5.3	⑤ 6.2
12	その他	5.5	1.8	4.2	4.1	⑤ 8.8	⑤ 4.8	0.0	1.6	0.0	5.3	3.1

※着色した欄は回答率の上位5項目を、数値の上の○内の数字は順位をそれぞれ表す。

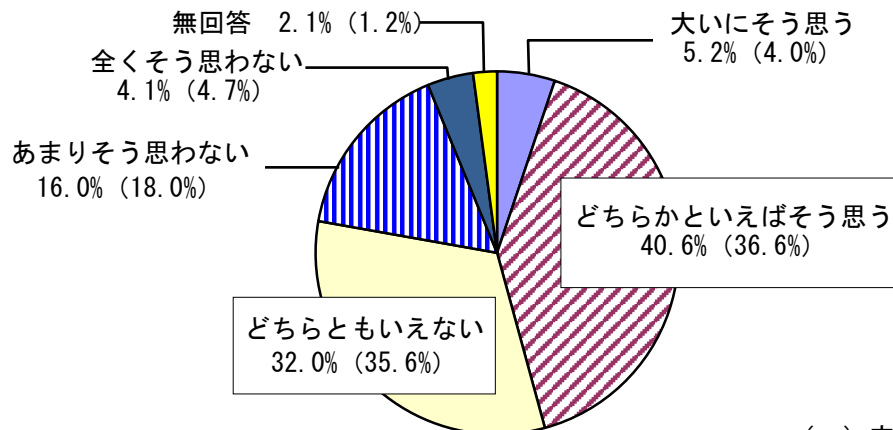
「広報あおもり」、「青森市ホームページ」、「テレビ（ニュース番組等）」、「ラジオ（ニュース番組等）」が全ての居住地区分において、上位5項目に入っている。

4 令和7年度 青森市の主な取組について

【問7】

あなたは、青森市は子育てしやすい街だと思いますか。（○は1つ）

【全体】



（ ）内は令和6年度の値

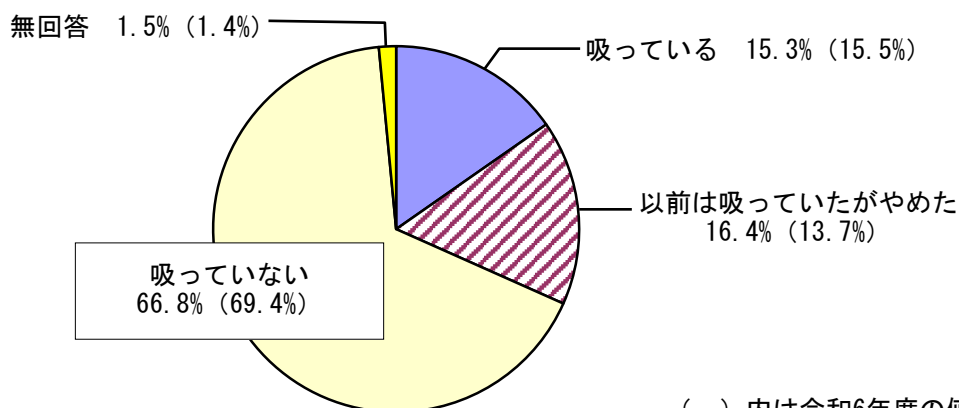
青森市は子育てしやすい街だと思うかについては、「どちらかといえばそう思う」の割合が40.6%と最も高く、「大いにそう思う」の割合（5.2%）を合わせた“子育てしやすい街だと思う人”の割合は45.8%となっており、前年度（40.6%）と比較して5.2ポイント増加している。

「あまりそう思わない」の割合（16.0%）と「全くそう思わない」の割合（4.1%）を合わせた“子育てしやすい街だと思わない人”の割合は20.1%となっており、前年度（22.7%）と比較して2.6ポイント減少している。

【問8】

あなたは現在、習慣的にたばこを吸っていますか。（○は1つ）

【全体】

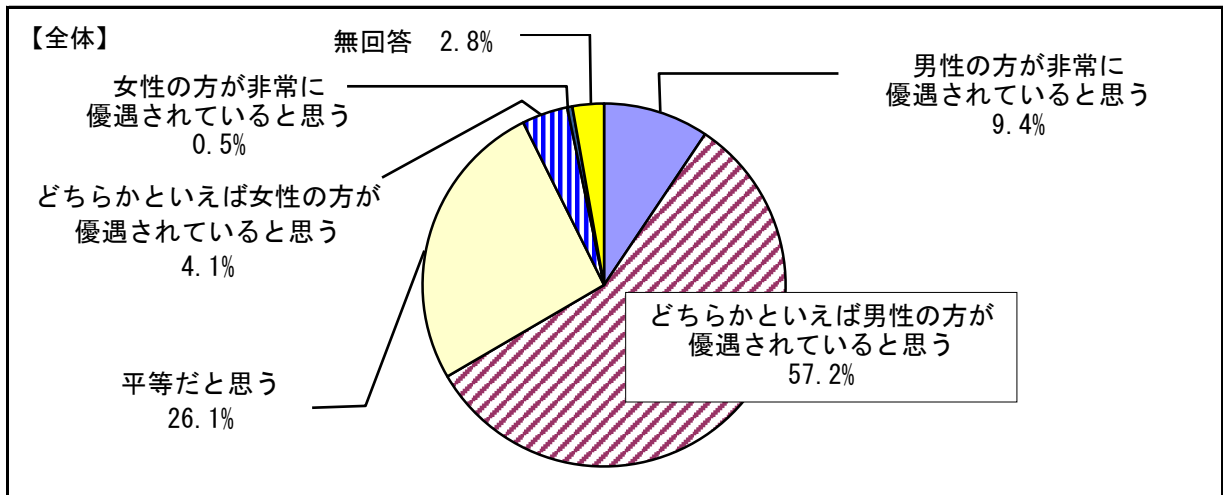


（ ）内は令和6年度の値

現在、習慣的にたばこを吸っているかについては、「吸っていない」の割合が66.8%と最も高く、「以前は吸っていたがやめた」（16.4%）と合わせた“現在吸っていない人”の割合は83.2%となっており、前年度（83.1%）と比較して0.1ポイント増加している。

【問 9】

あなたは、青森市において、男女の地位は平等になっていると思いますか。（○は1つ）

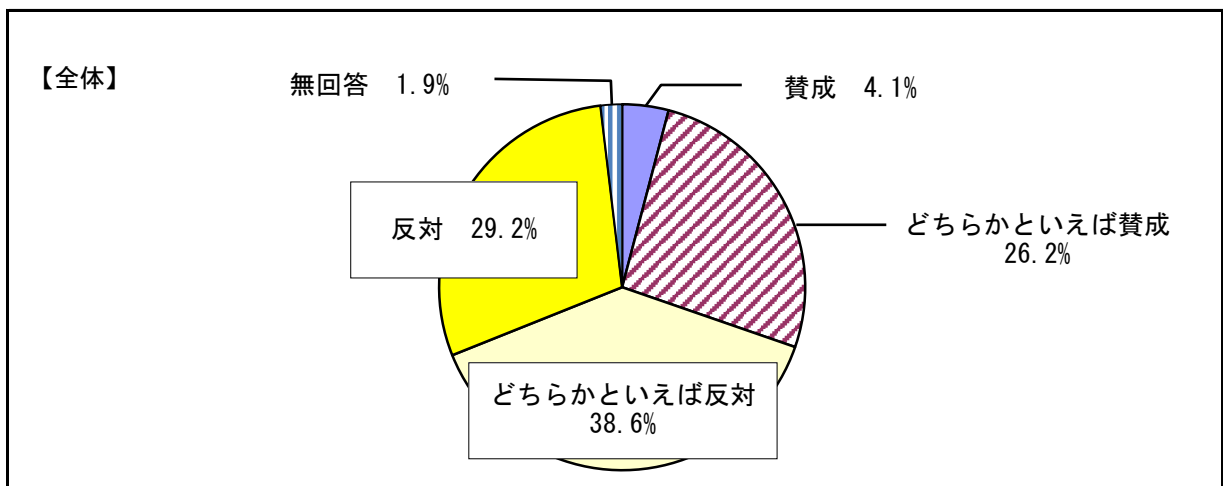


青森市において、男女の地位は平等になっていると思うかについては、「どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う」の割合が57.2%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されていると思う」の割合（9.4%）を合わせた「男性の方が優遇されていると思う人」の割合は66.6%となっている。

「どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う」の割合（4.1%）と「女性の方が非常に優遇されていると思う」の割合（0.5%）を合わせた「女性の方が優遇されていると思う人」の割合は4.6%となっている。

【問 10】

あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。（○は1つ）

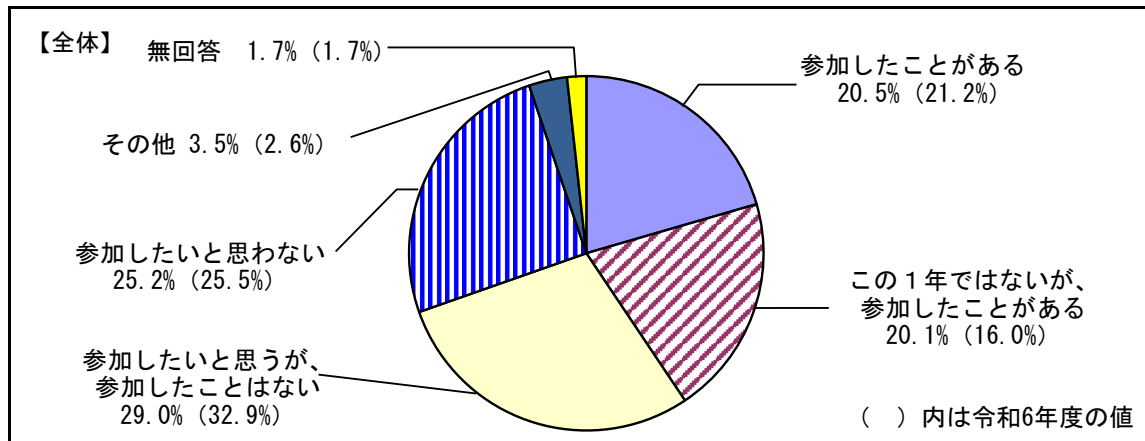


「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「どちらかといえば反対」の割合が38.6%と最も高く、「反対」の割合（29.2%）を合わせた「反対だと思う人」の割合は67.8%となっている。

「どちらかといえば賛成」の割合（26.2%）と「賛成」の割合（4.1%）を合わせた「賛成だと思う人」の割合は30.3%となっている。

【問 1 1】

あなたは、この1年間に、道路の草取り・清掃や側溝の泥上げ、また公園の草取り・清掃や花植えなど、公共インフラの維持管理活動に参加したことがありますか。(○は1つ)



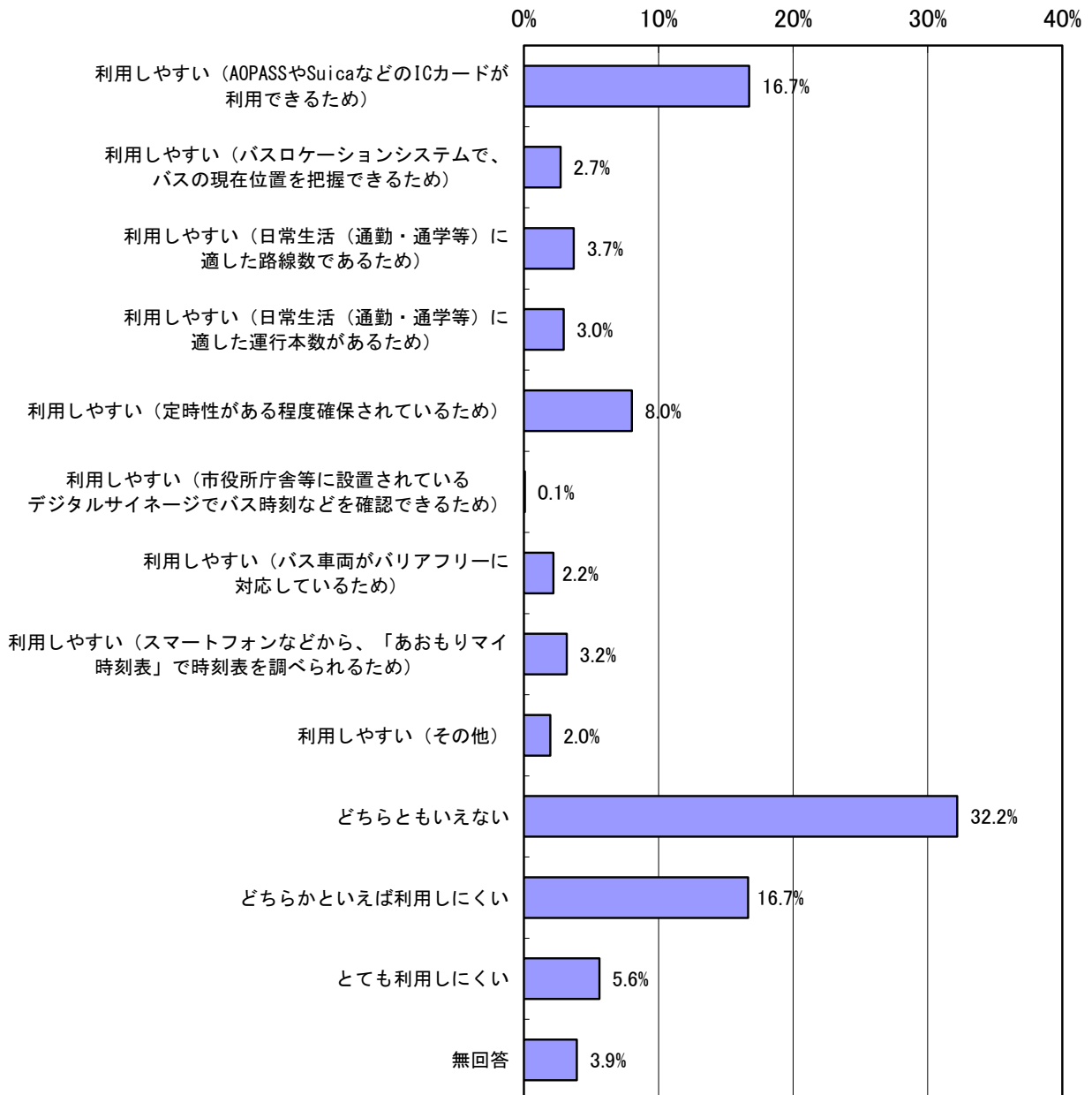
公共インフラの維持管理活動への参加については、「参加したいと思うが、参加したことはない」の割合が29.0%と最も高くなっており、前年度(32.9%)と比較して3.9ポイント減少している。

「参加したことがある」の割合(20.5%)と「この1年ではないが、参加したことがある」の割合(20.1%)と合わせた“公共インフラの維持管理活動に参加したことがある人”の割合は40.6%となっており、前年度(37.2%)と比較して3.4ポイント増加している。

【問12】

あなたにとって、路線バス（青森市営バス、市バス、ねぶたん号）は利用しやすいですか。（○は1つ）

【全体】



路線バス（青森市営バス、市バス、ねぶたん号）は利用しやすいかについて、「利用しやすい」（41.6%）、「どちらともいえない」（32.2%）、「利用しにくい」（22.3%）となっている。

「利用しやすい」と回答された中で最も割合の高い理由は「AOPASSやSuicaなどのICカードが利用できるため」（16.7%）であった。以下、「定時性がある程度確保されているため」（8.0%）「日常生活（通勤・通学等）に適した路線数であるため」（3.7%）「スマートフォン

などから、「あおりマイ時刻表」で時刻表を調べられるため」（3.2%）と続いている。

5 市政に対するご意見・ご提案

【問 1 3】

その他、市政について、ご意見・ご提案がありましたら、自由にお書きください。

いただいたご意見・ご提案について、各年齢層からのご意見・ご提案を掲載しています。

- ・ 岐阜出身で去年から青森市に来ました。名古屋によく通っていましたが断然青森の飯が安いし美味かったです。もっとPRしてもいいと思います。【男性、16歳～19歳】
- ・ 市民の地域活動が活発になる場や機会を増やしていただければ幸いです。青森に賑わいを生み出すために喜んで参加させていただきます。よろしくお願いします。【男性、20歳～29歳】
- ・ 少子化ではありますが小児科が激減していて子供が体調を崩した際、とても困ることがたくさんあります。予約しないと受診できない、仕事終わりに行ける遅くまでやってる一般開業医が無い。子供の健康を安心して守っていける病院が増えればいいなと思います。【男性、30歳～39歳】
- ・ 物価上昇に対応した賃金の底上げにより、若い人材の他県への流出を防いでいかなければならない。また、インバウンドの増加により、青森市の経済が活性化していくことは良い事であるが、今後は、環境、治安を守っていくために、法令のより一層の整備が必要ではないかと考える。【男性、40歳～49歳】
- ・ 少子化対策を強化する必要がある。また、人口減少問題は、どの都道府県市町村も必至なので、他県他市町村からの転入促進策は期待できない。なので、減少しても持続可能な自治体になるような政策を希望する。【男性、50～59歳】
- ・ 四季のすばらしい青森を生かした青森ならではの取組みを望みます。また、子供たちには、農業や自然環境保護の経験(体験)を通した教育の強化をするべきだと思います。【男性、60～69歳】
- ・ これからも大雪傾向が気象的に高まると高齢者が増えて家の周囲や屋根の雪下ろしが大変になる。このため今のままの除雪体制では不十分である。もっと効率的かつシステム的にしっかりとした除雪体制をつくるべきである。【男性、70歳以上】

- ・学校の先生に「子どもの権利」についてもっと学んでもらい、生徒一人一人が安心して生活できるようにしていただきたいです。例えば先生方に子どもの権利擁護委員の方から直接講義を受けていただき、生徒の前に立つ前に子どもの権利を守るとはどういうことかをしっかり学んでいただくなど、少子化が進む青森市で、すべての子どもが安心して学び、青森の大人に対して安心感を抱けるように、学校現場から改善していったほしいと思いました。私は通学にバスを利用しているのですが、冬場は大変混んでおり、授業に遅刻してしまうことがあったため、鉄道だけでなく通学するうえで不可欠な「バス」の路線も充実させていただきたいです。【女性、16歳～19歳】
- ・現在子供が1人おり、もう1人欲しいが、どうしても金銭的な不安が大きいです。課税、非課税世帯関係なく、2人目は0歳から保育料を無料にしてもらえると気持ち的に楽になります。【女性、20歳～29歳】
- ・保育料無償、学校の給食費無償、医療費無償など、子供を3人育てているので大変助かっています。ありがとうございます。子どもたちも将来このまま青森市に住み、働いてくれるよう青森市の魅力を伝えていきたいと思います！【女性、30歳～39歳】
- ・県民が短命ワーストと言われていることが気になる。青森市はこれを踏まえ、健康寿命上昇のためにも、他市町村に率先して、スポーツイベントや健康に関する交流に力を入れるなど、明るい方向に取り組むなどして欲しい。【女性、40歳～49歳】
- ・自然、文化、たくさんの資源があるが、活かしきれていないと思う。他県に観光に行った際、特に北東北(盛岡、秋田)と比較して感じた、観光への取り組み方、市の魅力の発信の仕方に遅れを感じた。良い部分は真似て吸収して青森らしさに変化させてください。大好きな青森市が、豊かで住みやすい魅力ある市になるよう、心から願ってます。【女性、50～59歳】
- ・豪雪地である為、降る年降らない年にかかわらず除排雪業者様の確保はしてほしい。道路整備をしてほしい。穴があいていたりガタガタする所が多い。ごみ収集について。高齢になると収集所へ持つて行く事もむずかしくなる。何か対策を講じていただきたい。【女性、60歳～69歳】
- ・側溝の整備(壊れている)、歩道は穴がたくさんあり整備されていない、障がいをもった人は生活しにくい、市の対応はいつも予算がないで終わる。市民が生活しやすいよう、環境づくりにも予算配分をしてほしい。【女性、70歳以上】
- ・新青森駅に旅行客が降りた時もっと緑がほしいです。フェリーふ頭に大型客船も寄港し縄文遺跡もあります。更にたずねてみたいと思わせる所がもっとあるといいですね。明治時代材とか映画材など、何か工夫が必要かと思います。いずれにしても、若い人が、青森にもどりたい、そして、結婚し子育ては青森でと思える人が一人でも多くなるといいなと思います。【性別不明、70歳以上】
- ・若い人が青森市に残ってくれるように新しい企業の設立や働く場所を増やし、給料をあげてほしい。(結婚して生活できるように)【性別、年代不明】

Ⅲ 調査票



「青森市民意識調査」へのご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から青森市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

市では、市民の皆様がまちづくりの各分野や生活の各局面などで、どのように考え、どのように行動しているのかを伺い、今後の施策等を検討する上での基礎資料とすることを目的に青森市民意識調査を実施しています。

この調査は、満 16 歳以上の全市民の中から、全体の性別、年齢、地域の割合に応じて、住民基本台帳（令和 7 年 4 月 1 日現在）から 3,000 人を無作為に選び、調査へのご協力をお願いしております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。（回答時間：5 分程度）

なお、調査結果につきましては、青森市ホームページ、市役所各庁舎、各支所・市民センターなどで令和 7 年 11 月頃の公表を予定しております。

令和 7 年 5 月

青森市 企画部 広報広聴課

回答は無記名としており、個人が特定されることはなく、回答をいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはございません。調査結果はこの調査の目的以外には利用いたしません。

インターネットでの回答がとても便利です

スマートフォンで回答



パソコンで回答

青森市電子申請・届出システム

<https://apply.e-tumo.jp/city-aomori-aomori-u/>

電子申請 青森市

Q 検索

インターネットで回答する場合は、
次の 5 桁の数字を入力してください。

～ ご回答にあたってのお願い ～

- ①封筒に記載している宛名のご本人がご回答ください。
- ②調査票でご回答される場合は、ボールペンまたは鉛筆で、直接この調査票にご記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストに投函してください。
- ③調査票、封筒には、お名前を記入していただく必要はありません。
- ④インターネットから回答される場合は、調査票を郵送していただく必要はありません。

回答期間：令和 7 年 5 月 9 日（金）～ 令和 7 年 5 月 31 日（土）

《お問合せ先》青森市企画部広報広聴課 TEL：017-734-5107

【問1】《全員回答》

あなたご自身について、あてはまるもの、あるいは近いものを選んで○をつけてください。

① 性 別	1. 男性 2. 女性
② 年 齢	1. 16歳～19歳 2. 20歳～29歳 3. 30歳～39歳 4. 40歳～49歳 5. 50歳～59歳 6. 60歳～69歳 7. 70歳以上
③ 職 業	1. 農・林・漁業 2. 給与所得者 3. 自営業 4. パート・アルバイトなど 5. 主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他
④ 青森市での居住年数 (旧青森市、旧浪岡町当時も含めて、 お答えください。)	1. 5年以内 2. 6～9年 3. 10～19年 4. 20～29年 5. 30～39年 6. 40年以上
⑤ 居 住 形 態	1. 持ち家 2. 民間の借家・アパート 3. 公営住宅 4. 給与住宅(社宅、公舎) 5. 間借、同居、寮など
⑥ お住まいの地域 (次のページにある 調査地域区分表をご 覧のうえ、お答え ください。)	1. 東地区 2. 中央地区 3. 南地区 4. 西地区 5. 東部地区A 6. 東部地区B 7. 南東部地区 8. 西部地区 9. 南部地区 10. 北部地区 11. 浪岡地区

調査地域区分表

地区番号	地区名	地区の範囲
1	東地区	岡造道、合浦、桑原（稲葉）、けやき、小柳、栄町、桜川、自由ヶ丘、田屋敷、茶屋町、佃、造道、筒井、中佃、浪打、虹ヶ丘、花園、浜館、はまなす、東造道、古館、松森、港町、南佃、本泉、八重田、矢作、矢田前
2	中央地区	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、本町、松原、安方
3	南地区	青葉、旭町、浦町、大野、卸町、桂木、金沢、北金沢、久須志、千富町、第二問屋町、問屋町、浪館、浪館前田、西大野、浜田、東大野、緑、妙見、安田、八ツ役（矢作）
4	西地区	油川、石江、岡町、沖館、里見、三内、篠田、千刈、富田、西滝、新田、羽白、三好、柳川
5	東部地区A	浅虫、泉野、後范、久栗坂、三本木、平新田、滝沢、野内、原別、馬屋尻、宮田、矢田、八幡林
6	東部地区B	赤坂、桑原（山崎）、駒込、沢山、諏訪沢、月見野、築木館、戸崎、戸山、蛭沢
7	南東部地区	牛館、大矢沢、幸畑、合子沢、新町野、田茂木野、野尻、雲谷、横内、四ツ石
8	西部地区	岩渡、新城、鶴ヶ坂、戸門、孫内
9	南部地区	荒川、上野、大谷、大別内、金浜、小館、高田、入内、野木、野沢、細越、八ツ役（芦谷、上林）
10	北部地区	飛鳥、後潟、内真部、奥内、小橋、四戸橋、清水、瀬戸子、西田沢、左堰、前田、六枚橋
11	浪岡地区	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、高屋敷、樽沢、大釈迦、徳才子、長沼、浪岡、福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

【問2】《全員回答》

あなたにとって、青森市は住みやすい市ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------------|---|---|--------------|
| 1. とても住みやすい | } | → | 問2－①へお進みください |
| 2. どちらかといえば住みやすい | | | |
| 3. どちらともいえない | | → | 問3 へお進みください |
| 4. どちらかといえば住みにくい | } | → | 問2－②へお進みください |
| 5. とても住みにくい | | | |

【問2－①】《問2で「1. とても住みやすい」もしくは「2. どちらかといえば住みやすい」と回答したかたのみ回答》

どのような点で住みやすいか3つまで選び○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 地域活動が活発である | 10. 身近に親しめる自然がある |
| 2. 図書館、体育館や公園などの公共施設が充実している | 11. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる |
| 3. 継続的に働ける場が確保されている | 12. 救急医療体制や身近なかかりつけ病院が整っている |
| 4. 買い物や娯楽などの場が充実している | 13. 冬期間でも安心して生活できる |
| 5. すみずみまで道路が整っている | 14. 街並みがきれい |
| 6. バスや鉄道が充実し、通勤・通学に便利である | 15. 災害や交通事故、犯罪への不安が少なく安心して生活できる |
| 7. 下水道が整備され衛生的な環境が確保されている | 16. 家賃や物価が安い |
| 8. 子育てをする環境が整っている | 17. その他() |
| 9. 学校などの教育環境が良好である | |

【問2－②】《問2で「4. どちらかといえば住みにくい」もしくは「5. とても住みにくい」と回答したかたのみ回答》

どのような点で住みにくいか3つまで選び○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 地域活動が乏しい | 10. 身近に親しめる自然が少ない |
| 2. 図書館、体育館や公園などの公共施設が十分ではない | 11. 高齢者や障がい者が安心して暮らせない |
| 3. 継続的に働ける場が少ない | 12. 救急医療体制や身近なかかりつけ病院が少ない |
| 4. 買い物や娯楽などの場が十分ではない | 13. 冬期間に安心して生活できない |
| 5. すみずみまで道路が整っていない | 14. 街並みが乏しい |
| 6. バスや鉄道が利用しづらく、通勤・通学に不便である | 15. 災害や交通事故、犯罪が多く安心して生活できない |
| 7. 下水処理が十分に行き届いていない | 16. 家賃や物価が高い |
| 8. 子育てをする環境がよくない | 17. その他() |
| 9. 学校などの教育環境がよくない | |

【問3】《全員回答》

あなたは、今後も青森市に住みたいと思いますか。(○は1つ)

1. ずっと住み続けたい
2. できるなら住み続けたい
3. 市内の別の地域に住みたい
4. どちらともいえない
5. できれば市外に転居したい
6. すぐにでも市外に転居したい

【問3－①】《全員回答》

問3で答えた理由としてもっとも近いものを1つ選び○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 住み慣れているから | 8. 雪が多いから |
| 2. 自然環境に恵まれているから | 9. 家族のいる所にいたいから |
| 3. 災害が少ないから | 10. 老後に不安があるから |
| 4. 土地、持ち家があるから | 11. 仕事がない、賃金が安いから |
| 5. 不便や不満を感じないから | 12. 他地域の方が魅力的だから |
| 6. 今の仕事があるから | 13. その他〔 |
| 7. 食べ物や水がおいしいから | 〕 |

【問4】《全員回答》

あなたは、青森市に誇りや愛着を感じますか。(○は1つ)

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

【問4－①】《全員回答》

問4で答えた理由として該当するものをすべて選び○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 住み慣れているから | 10. 雪が多いから |
| 2. 自然環境に恵まれているから | 11. 家族のいる所にいたいから |
| 3. 災害が少ないから | 12. 老後に不安があるから |
| 4. 土地、持ち家があるから | 13. 仕事がない、賃金が安いから |
| 5. 不便や不満を感じないから | 14. 他地域の方が魅力的だから |
| 6. 今の仕事があるから | 15. その他〔 |
| 7. 食べ物や水がおいしいから | 〕 |
| 8. ねぶた祭や温泉などの観光資源があるから | |
| 9. スポーツが盛んだから | |

【問5】《全員回答》

あなたは、知人や家族から「青森市に住みたい」または「戻りたい」と相談されたら、現在の青森市へ呼び込みたいと思いますか。(○は1つ)

1. 大いにそう思う ☐ → 問5-①へお進みください
2. どちらかといえばそう思う ☐ → 問5-①へお進みください
3. どちらともいえない ☐ → 問6 へお進みください
4. あまりそう思わない ☐ → 問5-②へお進みください
5. 全くそう思わない ☐ → 問5-②へお進みください

【問5－①】《問5で「1. 大いにそう思う」もしくは「2. どちらかといえばそう思う」と回答したかたのみ回答》

問5で答えた理由として、もっとも近いものを1つ選び○をつけてください。

1. 自然環境に恵まれているから
2. 災害が少ないから
3. 家族や知人がいるから
4. 食べ物や水がおいしいから
5. 老後に不安がないから
6. 仕事がある、賃金が高いから
7. 不便や不満を感じないから
8. 他地域よりも魅力的だから
9. その他

【問5－②】《問5で「4. あまりそう思わない」もしくは「5. 全くそう思わない」と回答したかたのみ回答》

問5で答えた理由として、もっとも近いものを1つ選び○をつけてください。

1. 自然環境に恵まれていないから
2. 災害が多いから
3. 雪が多いから
4. 食べ物や水がおいしくないから
5. 老後に不安があるから
6. 仕事がない、賃金が安いから
7. 不便や不満を感じるから
8. 他地域の方が魅力的だから
9. その他

【問6】《全員回答》

あなたは、青森市の市政情報をどこから得ていますか。該当するものをすべて選び○をつけてください。

1. 広報あおもり
2. 青森市ホームページ
3. メールマガジン
4. インスタグラム
5. フェイスブック
6. X(旧:ツイッター)
7. ユーチューブ
8. ライン
9. テレビ(ニュース番組等)
10. ラジオ(ニュース番組等)
11. 特になし
12. その他 {

令和7年度 青森市の主な取組について

市では、「市民力＋民間力 AOMORI 次なる舞台へ」のスローガンのもと、市長公約である「みんなで未来を育てるまち」青森市を創造していくため、「仕事をつくる」「人をまもり・そだてる」「まちをデザインする」の3つの柱に基づき、様々な政策に取り組んでいくこととしております。

青森市民意識調査では、市の政策等に関する項目について、市民の皆様のお考えなどをお伺いし、今後の市の取組等に活かしていきたいと考えています。

【問7】《全員回答》

あなたは、青森市は子育てしやすい街だと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 大いにそう思う | 4. あまりそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. 全くそう思わない |
| 3. どちらともいえない | |

【問8】《全員回答》

あなたは現在、習慣的にたばこを吸っていますか。(〇は1つ)

1. 吸っている
2. 以前は吸っていたがやめた
3. 吸っていない

【問9】《全員回答》

あなたは、青森市において、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 男性の方が非常に優遇されていると思う | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されていると思う |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されていると思う | 5. 女性の方が非常に優遇されていると思う |
| 3. 平等だと思う | |

【問10】《全員回答》

あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対

【問11】《全員回答》

あなたは、この1年間に、道路の草取り・清掃や側溝の泥上げ、また公園の草取り・清掃や花植えなど、公共インフラの維持管理活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 参加したことがある | 4. 参加したいと思わない |
| 2. この1年ではないが、参加したことがある | 5. その他() |
| 3. 参加したいと思うが、参加したことはない | |

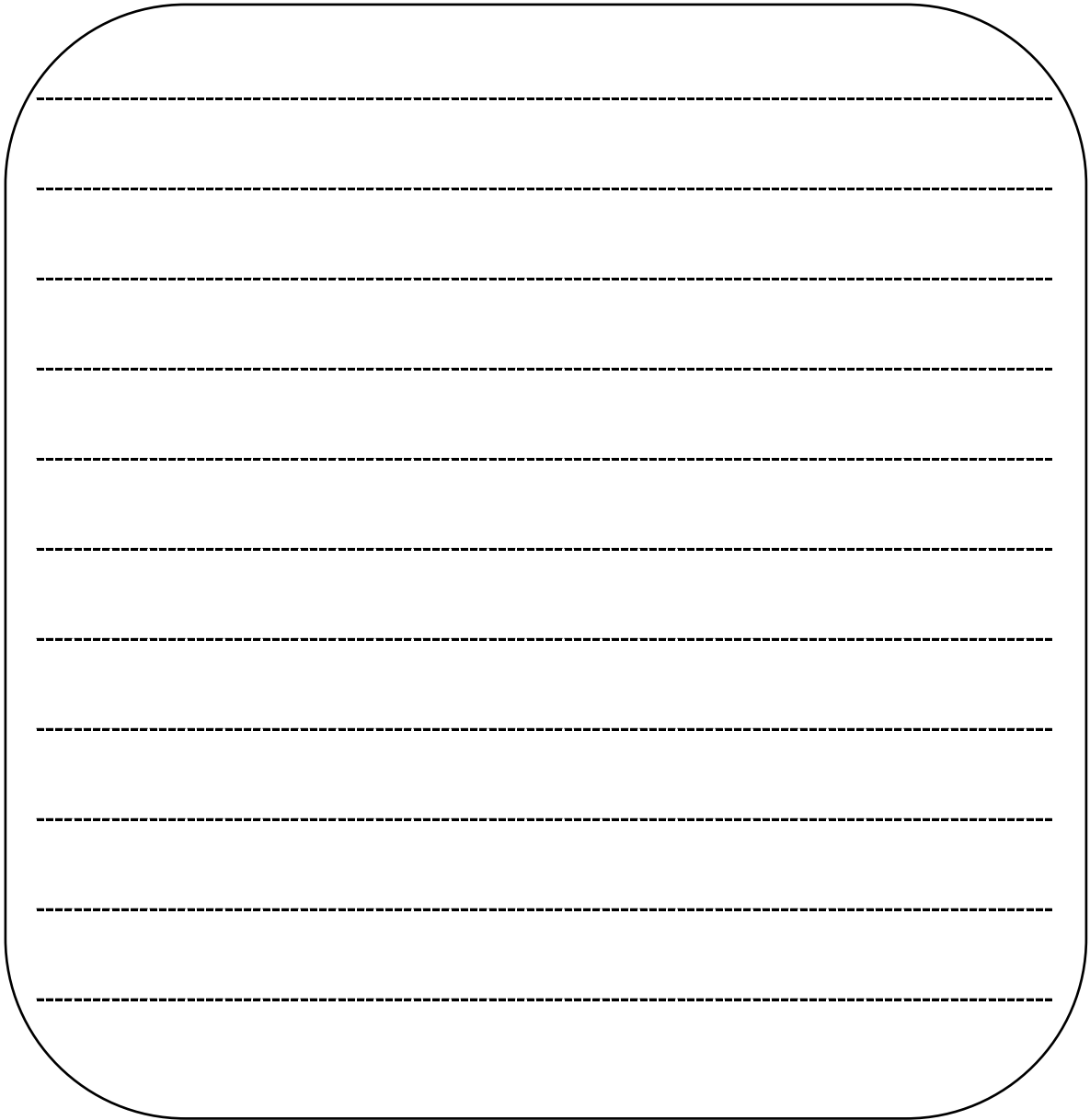
【問12】《全員回答》

あなたにとって、路線バス(青森市営バス、市バス、ねぶたん号)は利用しやすいですか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1. 利用しやすい(AOPASSやSuicaなどのICカードが利用できるため) | 7. 利用しやすい(バス車両がバリアフリーに対応しているため) |
| 2. 利用しやすい(バスロケーションシステムで、バスの現在位置を把握できるため) | 8. 利用しやすい(スマートフォンなどから、「あおもり マイ時刻表」で時刻表を調べられるため) |
| 3. 利用しやすい(日常生活(通勤・通学等)に適した路線数であるため) | 9. 利用しやすい(その他) () |
| 4. 利用しやすい(日常生活(通勤・通学等)に適した運行本数があるため) | 10. どちらともいえない |
| 5. 利用しやすい(定時性がある程度確保されているため) | 11. どちらかといえば利用しにくい |
| 6. 利用しやすい(市役所庁舎等に設置されているデジタルサイネージでバス時刻などを確認できるため) | 12. とても利用しにくい |

【問13】《任意回答》

その他、市政について、ご意見・ご提案がありましたら、自由にお書きください。

A large rounded rectangular box with a solid black border and rounded corners. Inside the box, there are ten horizontal dashed lines spaced evenly apart, providing a guide for writing a response.

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。



青森市民憲章

わたくしたちは、青い空、青い海、青い森にいだかれ、悠久の歴史と香り高い文化と伝統に満ちた青森市の市民です。

わたくしたちは、郷土あおもりを心から愛し、夢と希望にあふれたしあわせなまちとするためこの憲章を定めます。

- 1 自然をたいせつにし
美しいまちにしましょう
- 1 元気に働き
活気のある豊かなまちにしましょう
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちにしましょう
- 1 笑顔でふれあい
明るく平和なまちにしましょう
- 1 楽しく学び
いきがいをを感じるまちにしましょう

平成 17 年 4 月 27 日制定



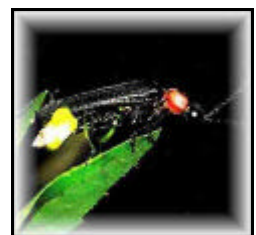
市の木
【あもりとどまつ】



市の花
【はまなすの花】



市の鳥
【いくろう】



市の昆虫
【ホタル】